
くわえて愛でて可愛いじゃん
kuwaete
aeide
kawaiijyan
～同期の凄テクに何度もトロイキ！
山田ツナ子
1


私は
商品企画部
佐藤舞子
この商品は
ここカ〇の部分が
他と違っている
のが拘りなの！
それにこの
絶妙な色味！
よく見て！
今日も大人の
おもちゃ開発に
燃えています
お前なあ…
こっちは工場から
コストオーバーだって
言われてんだよ
こちらは
営業部
近藤達也
同期で
ライバル
そこをなんとか
するのが営業
でしょ!?
無茶言うな！
予算内で売れる商品
作るのが企画だろ!?
うっさい
このチャラ男！
チャラさは
関係ねぇ
だろ！
まーた
痴話げんか
始まった
仲いいな～
痴話げんか
じゃない！


そもそも
ズイ
お前
このバイブ試した
ことあるのか？
使ったことのない
干物女の意見は
参考にならねぇだろ
なっ
俺が誰かと
試してきてやるよ
言わせて
おけば…！
むぅ〜〜〜っ
ギュッ
な？
反論出来ねぇ
だろ
ほら
どうなんだよ？
ガン
ぐぬぬ…
たしかに
これまでは
そうだったけど——
それは…


フフ…
彼氏持ちになった今の私は無敵よ！
ご安心を
使い心地は彼氏と試して後日レポートしますので！
シャラーン
ポカーン
は？彼氏？
5年間彼氏ナシの干物女に？
フッフッフッ…
フフフ…そうよ 彼氏が出来たのよ
ビッ
もう干物女とは言わせないわ！


今日の夜デートするの
無駄毛の処理から勝負下着までバッチリなんだから！
肌
これは返してもらうわ！
パシッ
あ
じゃっ！
ボーゼン
彼氏……マジかよ嘘だろ


うそっ！
もうこんな
時間!?
でも
あと少し
…！
カタ
カタカタ
カタ
カタ
ふん
カタカタ
カタ
残業になっちゃった
けど さっさと仕事は
片付けて帰るわよ…！
ふーん
ぱっ
あ、
彼かな!?
ブル


ピコン
【別れよう】


は?


とっとパイプの件が、
ないと思って…
話そう
既読
21：30
21：30
はあ!?
そっちのが
あり得ないん
だけど！


おかけになった
電話番号は…
プルルル
プルルル
プルルル
でない…


パチ
忘れものー
――っと！
パッ
ズウゥゥン
佐藤？
どうしたんだお前!?
うわっ
ハッ
なんかあったのか？
客先クレーム…？
アンタには関係ない……ほっといて！
なんでよりによって近藤が来るの!?
お前 今日彼氏とデートだったんじゃないのか？
勝負下着までバッチリ決めてるって言ってたろ


今日はデートのはずだったのに…
ポロポロ
…自分からバイブ使いたいなんていう女は嫌いなんだって……フラれちゃった
スン
…
やっぱり私女として魅力ないのかも…


えっ…？
いっ
なに…？
かあ
慰めてんだよ
なにって…
お前が本気で仕事やってるのは俺も知ってる
だから…
柄にもなく優しすぎて気持ち悪いんだけど
――っ
おとなしく慰められとけよ…
ぎっ


俺以外
誰も見てない
から
ぎゅっ
思いっきり
泣いとけよ


そんな優しい事
言わないでよ…！
ぎゅ


でも…
今は
こいつに
甘えても
いいのかな…
ぐすっ

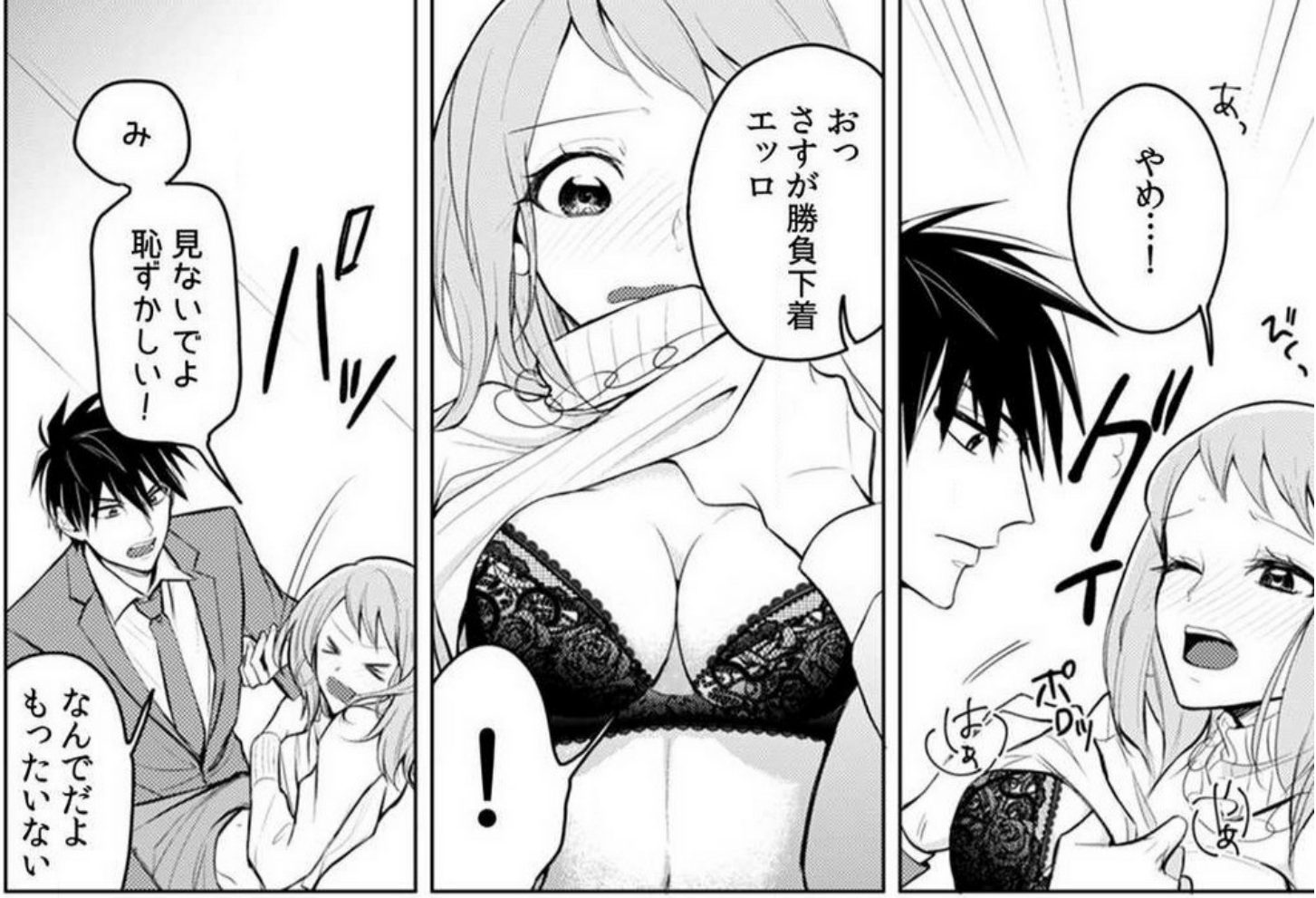

少しは
落ち着いた？
ズビ
ん……
ありがと


あーぁ
あんな啖呵
切ったのに
試してくれる
相手がいなく
なっちゃったなあ


えっ？
……仕方が
ねえな


グイ
ガシ
佐藤も
せっかくの新作と
勝負下着
無駄にしたく
ないだろ?
ギィ
きゃっ
俺と試して
みるか?
わっ
なっ…
なにするの!?
カキーン
ヴィーン
安心しろ
俺 上手いから
な?


わっ…
ちょっと!
試すって…
冗談でしょう!?
いいだろ
お前も使うの
楽しみにしてた
んだから
なっ…
ここ
会社…!
大丈夫
大丈夫
ヴィーン
ぴゃっ
こんな時間に
誰も来ないって
ヴィ
やぁっ…
ふる
ぐり
ぐり
ぐり
うっ…
うそでしょ――!?


あっ
やめ…！
ぴくっ
ポロッ
おっ
さすが勝負下着
エッロ
！
み
見ないでよ
恥ずかしい！
バッ
なんでだよ
もったいない


お前
色白いし
着痩せする方
なんだな
じっ
ビリ～～ん
こんなイヤらしい
透け透けの
下着見逃すなんて
お前の彼氏…
いや元カレ
マジでバカだろ
すりすり


バッ
そっ
そこはっ


だめっ
もう
やめてっ！
しる
こういう
ローターは
ポロ
あっ


こうやって
当てると気持ち
いいだろ？
そこ
ん
ぐにぐに
あ
そんな直接…
すると
ぐりぐり
されたら…
あ
はぁ


はぁ
なんだ
お前
そんな可愛い声
出せんだな
こんなチャラ男の
コイツ相手に…
感じたくなんか
ないのに…
ちが…んっ…
しかも
すげー感じ
やすいし？
どうしてこんなに
気持ちいいの…？
やぁっ…
んっ


違うとか
言って
お前のココ
すりすり
やっ
ぷにぷに
もう
濡れてるけど？
うそ…
近藤の指…
入ってきて…っ
ビクビク
あっ
ぐにぐに
やっ
ビクビク
とろん…
どうしよう…
抵抗しなきゃ
ダメなのに…っ！
気持ち
いいだろ？
ぬぷ
あん


ぬるぬる
近藤のごつごつした指…
気持ちいい…っ
腰動いてるけどもっと激しくしてほしいのか？
やっそんなわけ…！
じゃ身体に聞いてみるな
乳首どんどん硬くなってきてるけど？
激しい方がイイんだな
だめ…やだっ近藤…っ！
そんな強くしたら…
もう立っていられないっ！


ギッ
カパ
嘘つくなよ
きゃあっ
ポテッ


ふらぁ
今軽くイッた？
ちっ違…！


もっと脚開け
はっ

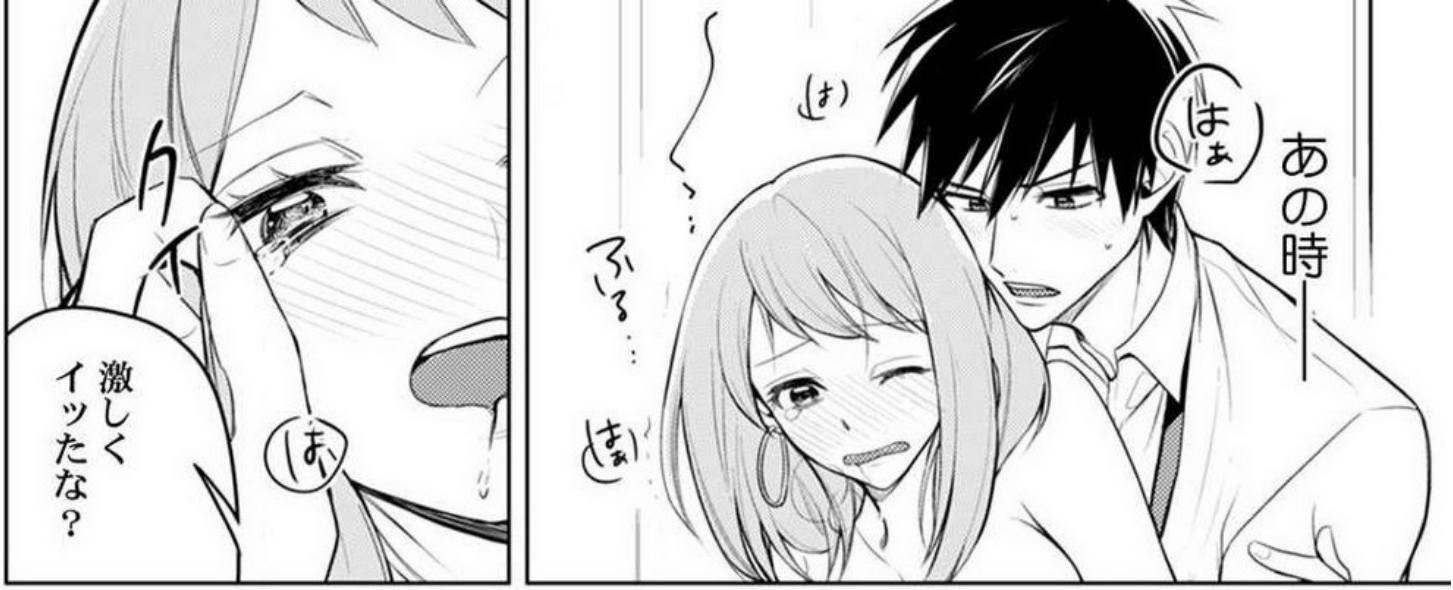

やだっ
この体勢…ッ
全部見えちゃう
やっ
はっ
すごっ


恥ずかし…からっ
もうやめて…！
かあああっ


ソク
ソク
恥ずかし
がってんの？
可愛い
もっと
素直になれよ？
ビクッ
ホラ
あ♡
ゼクッ


ッ♡
だめ…もう
あ♡
イけよ
ビクッ
ビクッ
あああああ
ガクガク
イッちゃう……！
ヴィー
ヴィー
ちゅぷっ


翌日
おはよう
ドヤァ
引き
ドン
お前どうしたんだよ近藤！営業なのにソレはないわ
イケメンも形無しだな～
いや～かわいい子猫にひっかかれてな～
ハァ!?
嫌味かよ！
なにが子猫だよ！
わい わい
ブッ ブッ ブッ
やばい…
どうしよう
やっちゃった


あの時――
はぁ
はぁ
ふる…
はぁ
激しく
イッたな？
はぁ


な？
よかっただろ
――っ！
かあ
あぁ
あぁ
恥ずかしくて
本音（よかった）なんて
言える
わけない
でしょ…！
はぁ


なんだよ
グッ
ニャ
ニャ
まだ
足りない
のか？
ヤラシい
やつだな
カタ
そうだな…

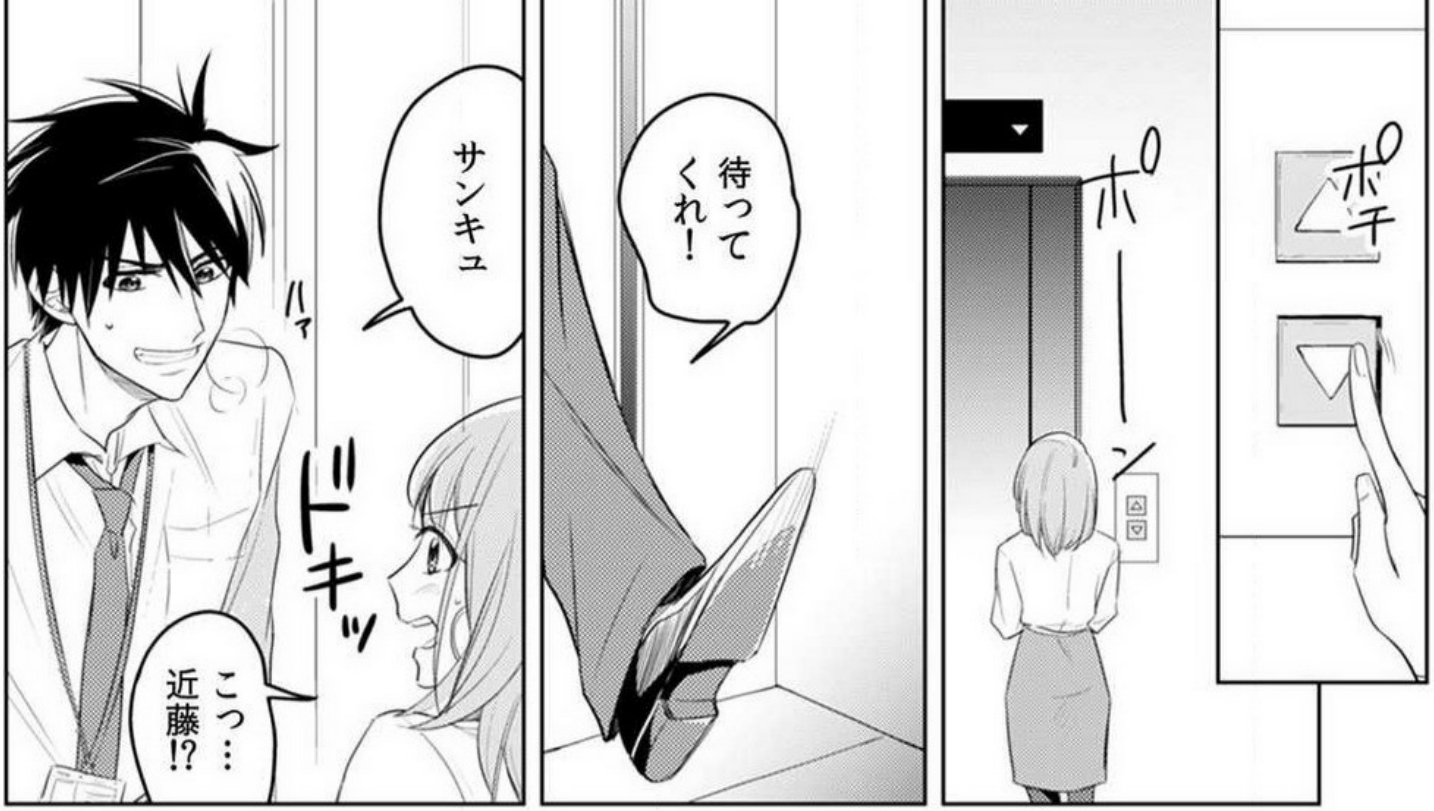

ここにある
社内の試供品
もう一つ
くらい
試しとく？


昨日は
あんな風に
言ったけど
もしかして…
私達ってすごく
相性がよかったのかも!?


あいつよく見ると
イケメンだし……
ジトー
脱いだら腹筋とか
割れてたりすんのかな


はっ
こっち
見てる…!?
チラ
ドキッ


へっ変に
意識しすぎよ
まいこ!
コンビニでも
行って一息ついて
頭切り替えよう!
パタ
パタ


ポチ
ポーン
待ってくれ！
サンキュ
ハァ
ドキッ
こっ…近藤!?


どうしよう
気まずい!!


意識しちゃって
避けてたのに
まさか二人きり
になるとは…
何階？
フッ
えっ……!?
ドキ
俺も
1階
ドキ
ドキ


背中に近藤の熱が伝わってくる…！
ドッ
ドッ
佐藤さあ…
今朝から俺のこと避けてるだろ
ビクッ
!!

や やだ…
あっ…
そんなことない…
き 気のせいじゃない？
こんな昨日と同じ体勢だと…


思い出しちゃう…
なんだお前顔真っ赤だぞ
なっ
もしかして仕事中なのに
昨日のこと思い出してたのか？


ちっ
ちが…
ん…っ
ちゅ
んん～～っ！
ん…
はっ
まだ足りないって顔だな？
こんなところで物欲しそうな顔するなよ…
ぷはっ
へ…？
パラ…


きゃっ！
なやっ
こ近藤…!?
なにして…！
ちゅ
ぎゅ
ぐりぐり
そんな…
こと…
はっ
仕事中に
こんなこと…
はっ
もうこんなに
身体熱くなってる
ほんと
イヤらしい
身体だな？
も…っ
やめてっ
ホラ
プニ
プニ
ひゃぁっ
そんな可愛い顔じゃ
拒否しても
逆効果だろ
スッ
誘ってる
ようにしか
見えねぇよ
はっ


ひゃっ
ドン
――っ！


誘ってなんて…
ぐぐぐ…
な――っ


誰か来ちゃうかもしれないのに――
やっ
はなして
どうしよう――…っ

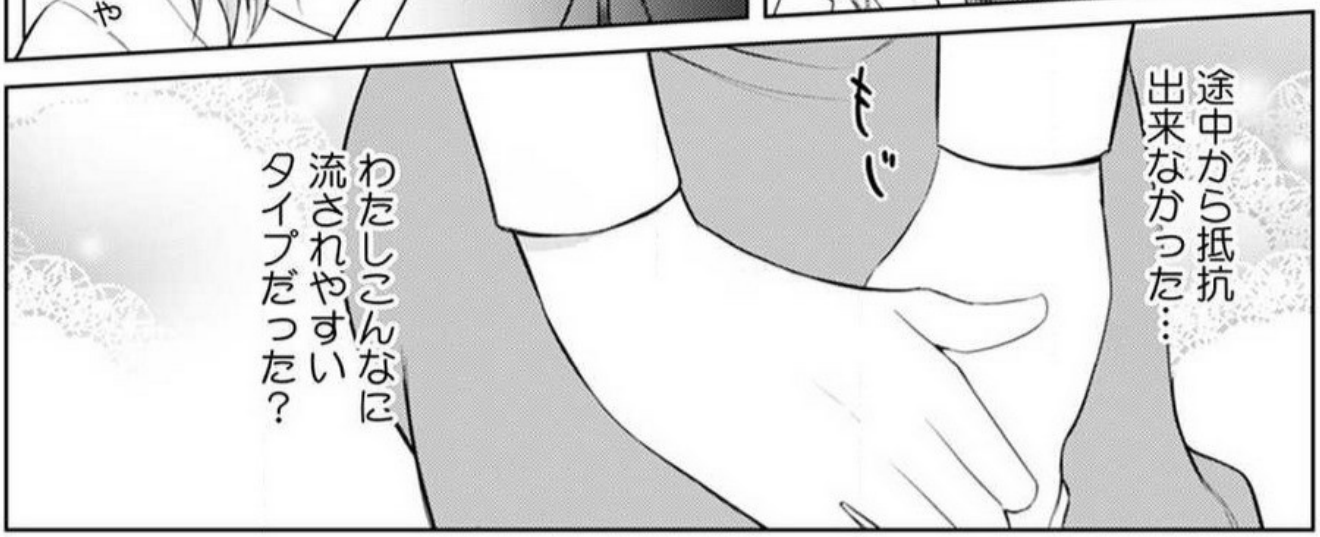

ちょっと黙ってろって
すろ


くわえて
あえで
可愛いじゃん
kuwaete
aeide
kawaiijyan
～同期の凄テクに何度もトロイキ！
山田ツナ子
②


ビク
ちゃ
あ
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ
こ近藤
アンタのスマホ
鳴ってるっ…！
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ
あ～…
で
出ないと
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ
いいって
でもっ
なんかあったの
かも…ン
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ
やっ
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ

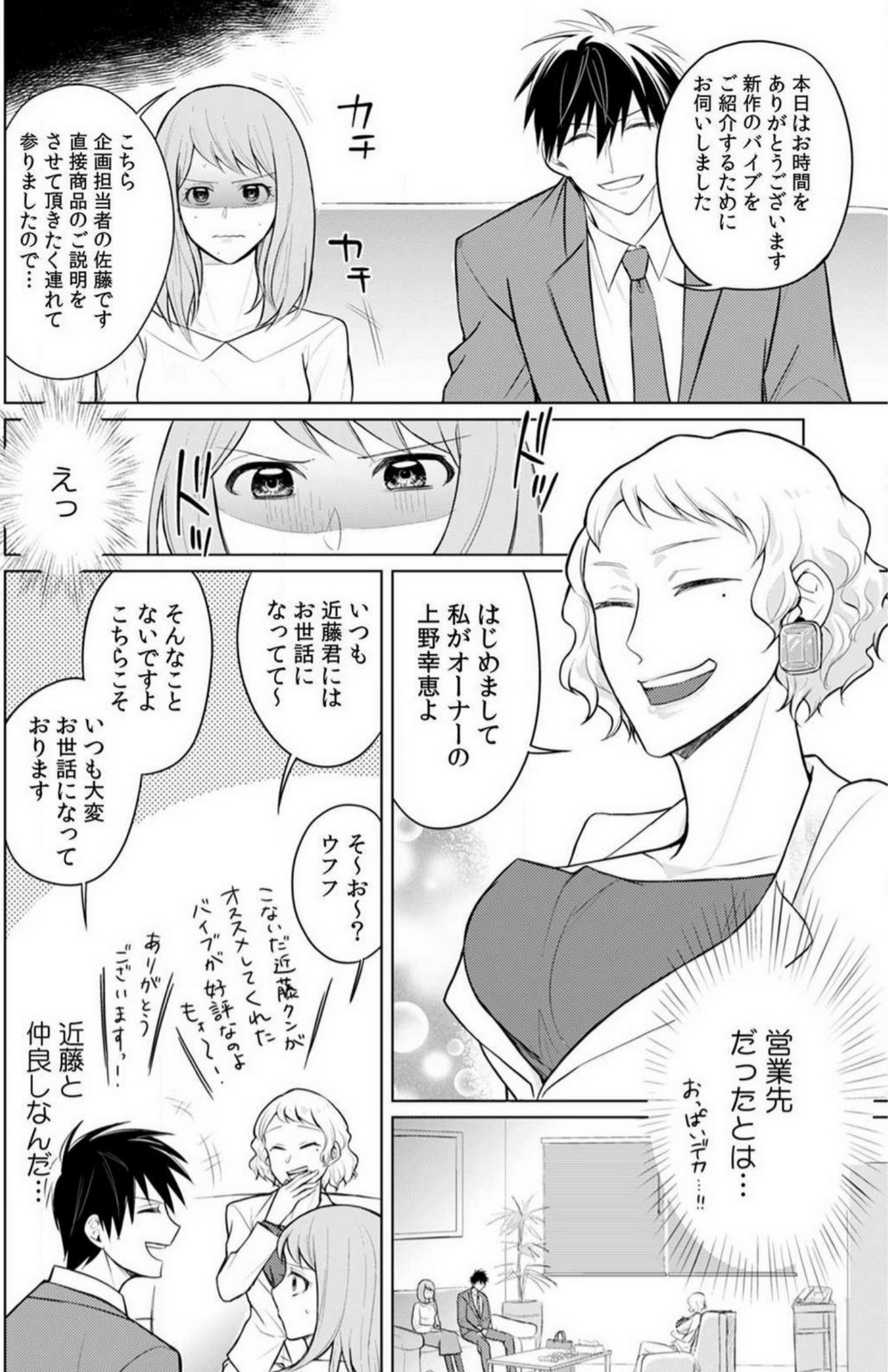

ヴヴヴヴヴ
イラッ
出ればいいんだろ出ればッ！
ハイ近藤です


ああお世話になっております
パッ
ハイ…ハイええ…その件は～
ホ…
よ…よかった…このままじゃ流されてた


途中から抵抗出来なかった…
もじ
わたしこんなに流されやすいタイプだった？


かしこまりました
佐藤も連れて行くので
は？


いくぞ
へっ!? どこに連れてく気!?
どこって
ニヤ
楽しいところ♡
早く行くぞ
!?
ま、
待ってどこ行くのよ!?
いいから
ばばばーーーん


本日はお時間をありがとうございます
新作のバイブをご紹介するためにお伺いしました
こちら企画担当者の佐藤です
直接商品のご説明をさせて頂きたく連れて参りましたので…
カチ
カチ
えっ
ドッ
ドッ
はじめまして私がオーナーの上野幸恵よ
営業先だったとは…
おっぱいデカ…!!
いつも近藤君にはお世話になってて～
そんなことないですよこちらこそいつも大変お世話になっております
そ～お～？ウフフ
こないだ近藤クンがオススメしてくれたバイブが好評なのよもぅ～
ありがとうございます！
近藤と仲良しなんだ…


で
このバイブは
こだわりの形状で
使用感がよくなる
ように素材を…
でも
ずいぶん
高いのね
あっ……
ええ他社よりは
多少お値段は
張りますが…
！
でも、
私も使用してみて
この部分が
お気に入りで…
やっやだ……
……
緊張して
うまく喋れない！
使用感ねぇ…
ヰラ
はぁ
あなたみたいな
色気のない子に
言われても～
イマイチ
説得力に
欠けるわね
ガーン
うーん


どうしよう…
何か言わなきゃ
ギュウ
う…
あぁ
あぁ
あぁ
チラ
ス
何か…
他社よりは
たしかにお高い
かもしれません
はっ


ですがそれは
品質や質感・感触
お色味にこだわった
結果なんです
近藤――？
ズイ
グ
ロロロ
見てください
このくまさんの
腕が振動して
ク〇トリスを…
ほとんど
同じ内容なのに


社長さんも
納得してくれてる
ふむ…
すごい…
…


近藤に助けられてやっと契約してもらえたけど…
私なんかただのお荷物で…
いや
俺はお前が詳しくこだわりを説明してくれたからこそだと思う
どうした？
はあ…
HOTEL ROS
HOTE
またね～
ありがとうございました
ペコ


いや…私一人じゃ納得させられなかった
それに使ったこと だって信じて貰えなくて…
やっぱり色気ゼロの私なんかじゃ…

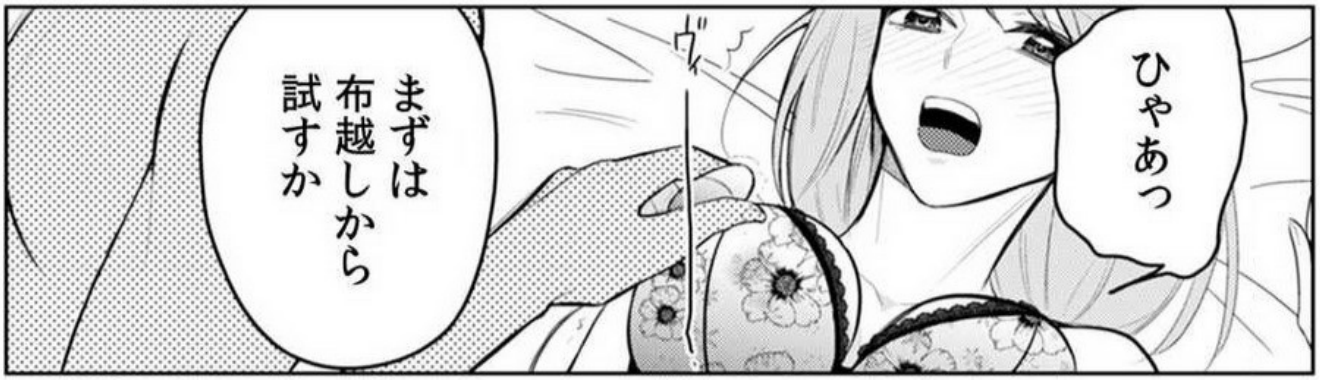

フーン
色気ゼロねぇ…
そこまで言うなら試してみるか
たっ試すって…
一体何を——
これも仕事のうちだ


まっ待って
待たない
んっ


ちょっ
うっうそでしょ――!?
近藤…!?
やめっ
へぇ
ぬぎっ
近藤に…
はっ
はっ
朝触られたトコロ
また熱くなって――…


頭がクラクラする……
どくん
すると
今日もエロい下着着てんじゃん　実はヤる気だったとか？
ふーん
へぇ
ちがっ
今日は企画の仕事の締め切りが近いからテンション上げようと思ってお気に入りの下着を着ただけで…
ペラ
ペラ
ペラ
べっ　べつにアンタの為じゃないから！
バッ
素直じゃねぇなあ
ほらこれ
プラン
え？
また試供品の新作ローター
使ってみようぜ


こ これは…!!
舞子開発
喘ぎまくりの
大快感ローター
20通りの振動で
死ぬほどイキ狂い
間違いなし!
宣伝文句の通り
喘ぎまくっても
何言って
…!
ラブホなら
いくらでも
声出せるから
安心だな?


ひゃあっ
まずは
布越しから
試すか


ぜんぶ
気持ちよくって——
はぁ…
んっ
あ
抵抗できない——!


やっやだ…コレ…
昨日のよりもっと
はげしくて——っ!!



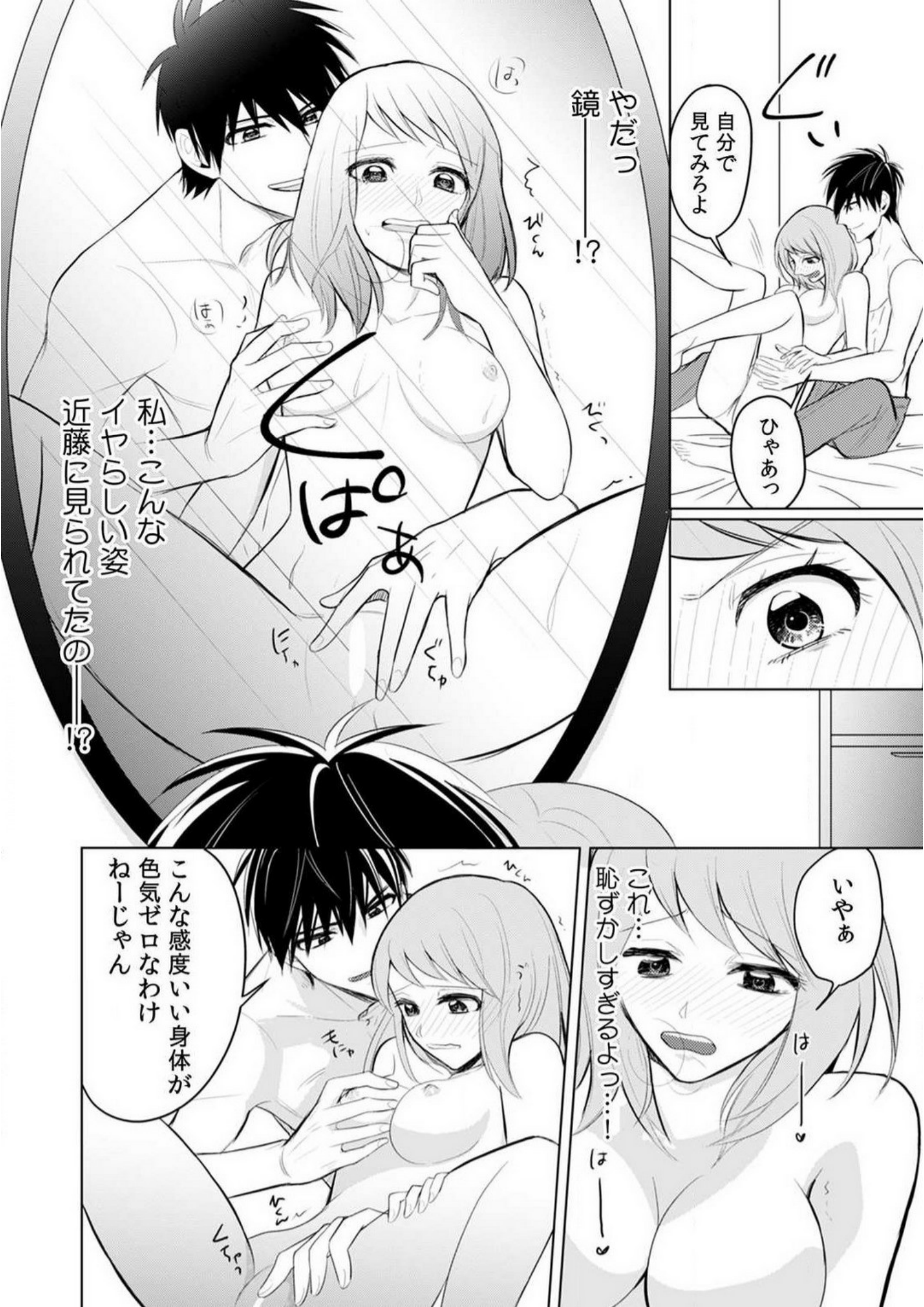

どうしよう——
や
やぁ
ソコッ


すっげー感じてんじゃん
あっ…
すぐにでもイキたそうな顔してるぞ？
なっ
あっ
次は直接当ててやるよ
きゃあっ！


それっ
乳首だめぇ…
直接当てる方が
気持ちいいんだ？
ヴィ
ビク
ビク
あ
ぬるお
つん
あ
ぷる
もうこんなに
硬くなってる
けど？
ぜひ
ビクビク
ん
バイブの振動と
近藤の舌で——
そっ
そんなこと
いっちゃ…っ
やぁあぁあっ
ぐぐぐ
私 もう——
ぐぐぐ


もう
イクッ
ビク
ビク
ビク
ぐちゅ
にちゅ
きゃん
キュン
ぐくっ
ぺくん
んあ あぁ〜♡
ビッ
私——胸だけで
イっちゃった…
すっげー
エロ…
はぁ
はぁ
こっちも
試そうか？
あ…
じゃ
ここは…
すぅ
おぁぁ
もう
グチョグチョ
だな
ぬぅ
そんな…
イッたばかりなのに——っ！


やっ
今ソコ刺激されたら——
ちゅぷ、
ヴィー
ぐにぐに
あっ
とぉ
わけわかんなくなっちゃう——！
あんっ
すっげぇヌルヌル
ほら分かるか？お前のここ
ヒクヒクしてる
ちゅぽん…


自分で見てみろよ
ひゃあっ
やだっ 鏡――!?
ぱあ
私…こんなイヤらしい姿近藤に見られてたの――!?
いやぁ
これ…恥ずかしすぎるよっ…!
は――♡
は――♡
こんな感度いい身体が色気ゼロなわけねーじゃん


ココから
どんどん
溢れてきた
ぬぷ
ぐちゃ
にゅ
ぐちゃ
スッゲ〜
そんなこと耳元で
言われたら——っ!
んん。
びくっ
びくっ
びくっ
びくっ
ぐちゃ
ホラ入って
いくところも
全部丸見えだぞ
ぐっ
ぐちゃっ
顔
上げて
お前の
感じてるところ
全部見てろ


そんなまっすぐ
見つめられたら
目が離せない——
かなぁ
あ
締まった
まだ
こうこう
自分で見て
感じてんだろ？
ちがっ
違うのか？
こんなに
ぐちょぐちょ
なのに？
じゃあ
ただのドM
ってことか
そっ
そんなコトっ
どうしよう
私……
もっともっと
近藤にシてほしいなんて
思っちゃってる——


近藤の指
さっきより
はげし…っ！
俺の指と
ローターどっちが
気持ちいい？
全部丸見えで
恥ずかしいはずなのに
そっ…
そんなの
分かんな――っ！
こんなに興奮
してるなんて――


とす
は〜♡
は〜♡
は〜♡


そろそろ
いいよな？


また盛大に
イったな
今の佐藤
最高に
色っぽいぞ…
ゴッ
ゴッ


今度は
なっ…


俺が試す
番だな
ニヤ


えっ…!?
これ俺も開発に携わった新作の極薄0.01ミリゴム
試そうぜ
ピッ
そっ
そんなの…
ムリだよ!
大丈夫
言っただろ?
俺
上手いから
じぃぃっ
それに…
こんなエロい姿
見せつけられたら
もう限界
!
かぁぁぁ


ん…
ぐ…
ほの
近藤のコレ
ドキ
私のせいで
こんなに大きく
なってるの――!?
は…
よし
じゃあ
はっ
ドキ
はぁ
ドキ
入れるぞ
にちゃ
ぷにぷに
ぷにぷに
ぷにぷに
あっ
おっきい
はっ
やっ
ナカ…入ってくる…
大丈夫か?
ん…っ
サラ


やっ そこ
あっ
お前のナカ
あっつ…
ズッ
ズッ
ズッ
お…
おっきい
ぎゅっ
ズリ
全部…
入った
ひくん
チュン
キュン
ひくん
あぁ
ん♡
あ♡
ゴム越し
なのに
あっ
じゅん
じゅん
キテ
キテ
はぁ
近藤のカタチ…
伝わってきてる——っ
俺のが
こんな所まで
入ってる
ぐい
ぐい
きゅん
あんっ
じゃあ
動くぞ
キラ
んっ…


やっ…イキナリ深い――っ
ズッ
奥の奥まで突き上げてくるっ
ズプ
ズン
すっげ…きゅうきゅう締め付けてくる
近藤のが
はぁ
いいトコロに当たって
そんな何度もとんとんされたらっ――
イクッイッちゃう
気持ちよすぎて…っ
私――っ…！

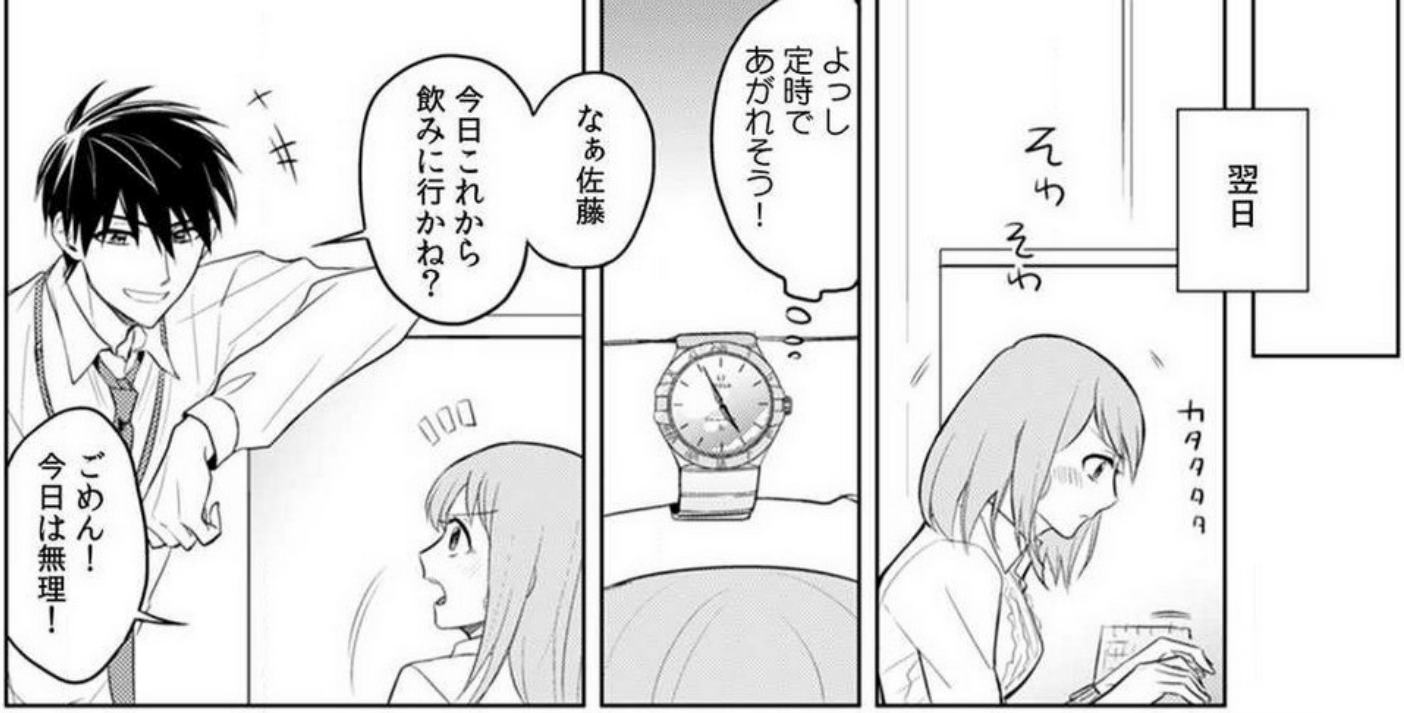

くわえて
kuwaete
aeide
kawaiijyan
喘いで
可愛いじゃん
～同期の凄テクに何度もトロイキ！
山田ツナ子
3






悪くはなかった…かな
ごごご


ガタン ゴトン
……
気まずくて先に出てきちゃった
——今回も結果的に流されちゃったけど
はぁ
やっぱり近藤と身体の相性は最高だったな…
はぁ
はぁ
お互い感じてるのが手に取るように分かって
セックスってあんなに気持ちいいものなんだ——…
ん？
ヴー
ヴー
ポロン
21:00
ちょっと会える？
元カレから…？
ギョ
——え!?


翌日
そわ
そわ
カタカタ
よっし
定時で
あがれそう！
なぁ佐藤
今日これから
飲みに行かね？
ごめん！
今日は無理！


なんか
予定あんの？
も…
元カレから
連絡があったの
てれっ


……へぇ
ムカ


それは
よかった
じゃん
ポム
今の
佐藤なら
前より
色気もあるし
すぐヨリ戻り
そうだな
色気…？


そ
そんな
つもりじゃ…
これでも
俺と試さなくて
よくなるな
ちょっ!?
何言って…!

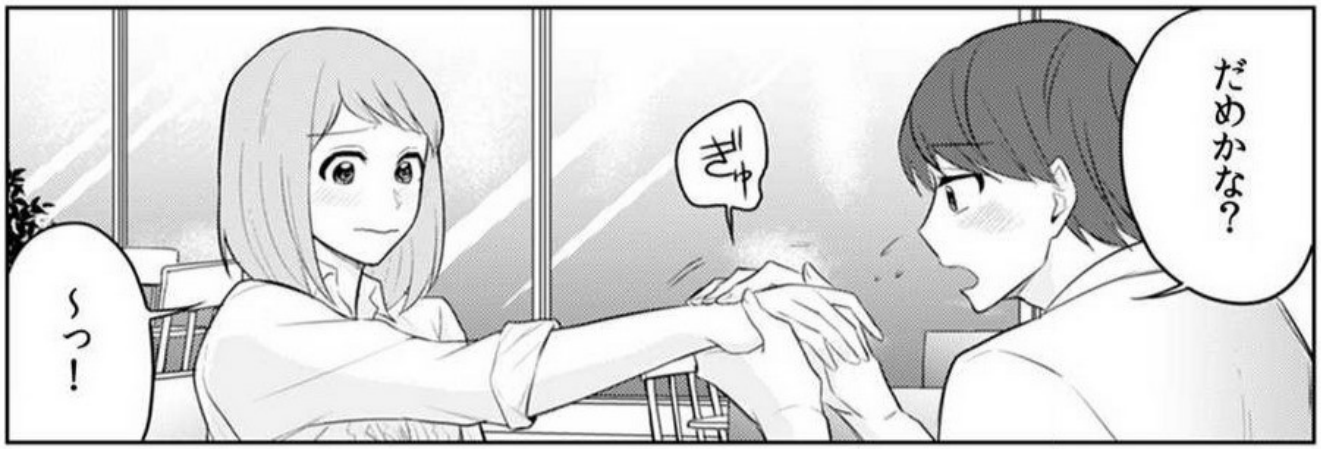

じゃ
頑張って
ヒラヒラ
!
確かに
そうだけど…


これで
もう――
カタカタ
カタ
近藤とは
そういう関係じゃ
なくなっちゃうのか…






この間は
本当にごめん
オレ…
まいことやっぱり
やりなおしたい


だめかな?
ぎゅ
~っ!


……わたし
かなりショック
だったんだけど
手はなして…


…っ

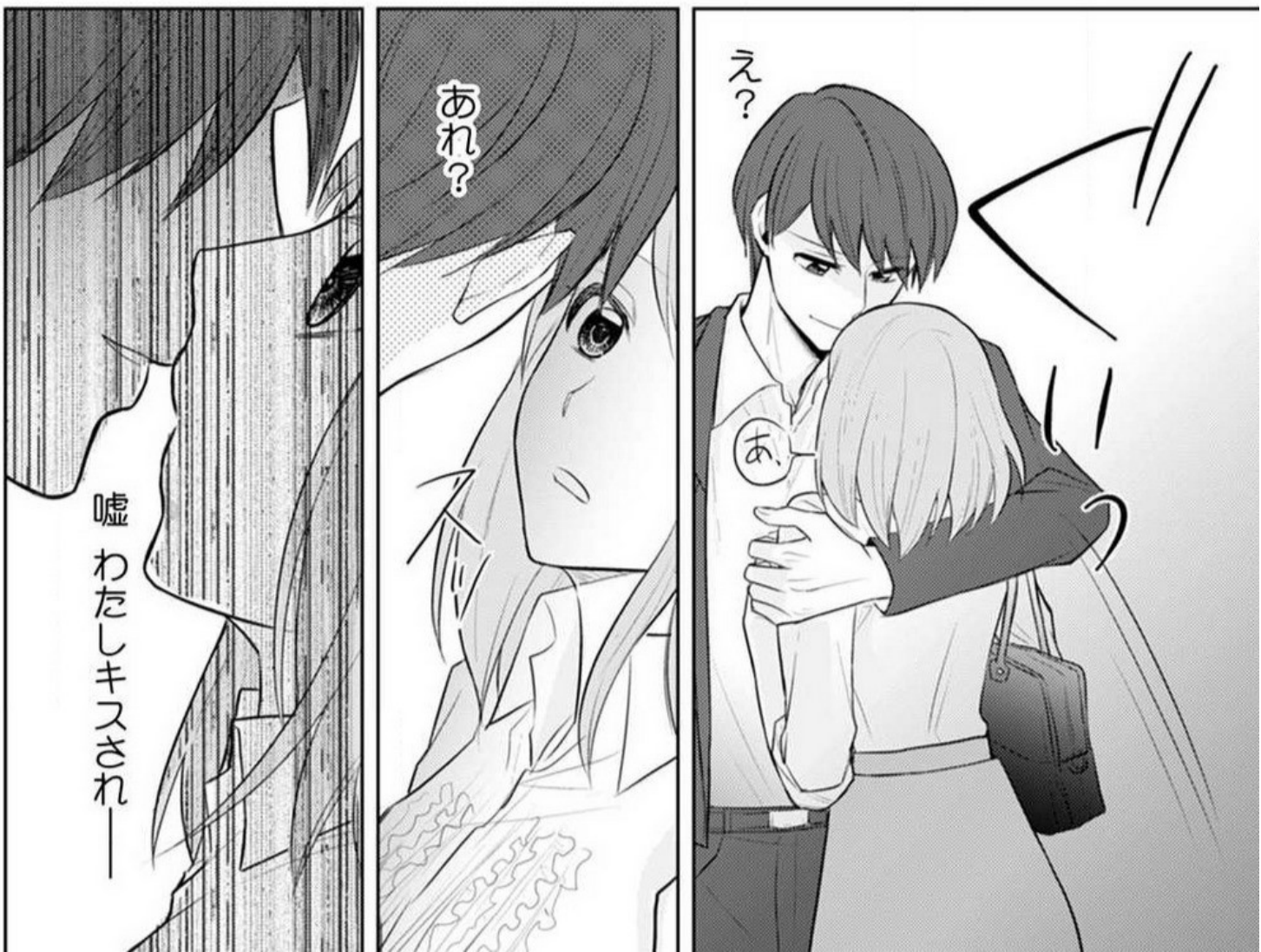

ニのと
本当にごめん
謝るよ
俺が悪かった
…


…そう言って
くれるなら…
本当か!!
ありがとう!


——よかったじゃん


こんな仕事終わりの夜遅くにごめんな
送ってくよ
これでいいんだよね…
えぅん
ワハハハ
わっ
大丈夫?

大丈夫…


え?
あ、
あれ?
嘘 わたしキスされ——


キスっ……
やだっ!!
こんな往来で…
プル
プル
は?
ごめん
やっぱり
無理みたい
ヨリ戻すのも無理!
ごめんなさい!
ちょっ
まいこっ!?
わたし——
どうしちゃったん
だろう——


近藤くん
マジやばーい！
キャハハハ
わたし
今日終電逃し
ちゃっても
いいかも
ね どうかな？
ふに
香水プンプンな
女の匂い…
ちょっと！
聞いてるの？！
佐藤とは大違いだな
……なんか
気が向かねぇな
ごめん
明日朝早いし
駅まで送ってくよ
ZF
え～？
ニヤッ
また今度遊ぼうよ
連絡して
して欲しいなら
したげるけどぉ～
欲しい
欲しい！


佐藤とオレの
身体の相性は抜群だ
しかも
胸もデカいし
感度も良好


いつも強がっている
アイツの
ベッドの上で見せる
蕩けた顔を…

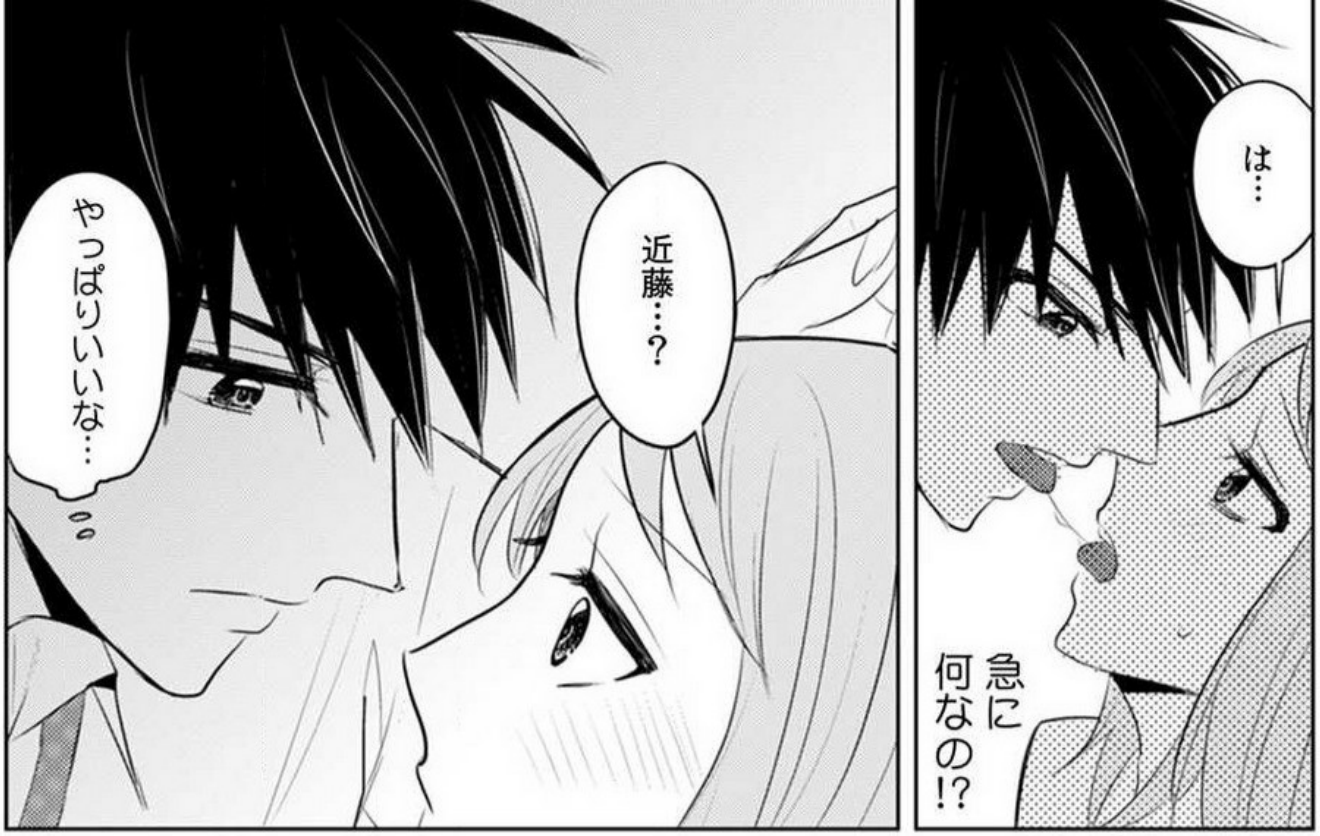

——元カレも
もう見たのか？


……
…なんか
それは嫌だな
ダメだ…佐藤のことが
頭から離れねえ
どした？
んー
なんでもない


二人で残業中
ちょっと近藤聞いてる!?
あっ悪いなんだっけ
ちょっとアンタねぇ…
ハァ——
まあいいわ
この前の企画のことなんだけど…
パッ
くそっモヤモヤして仕事になんねぇ
あれは先週話を通したって言ってただろ?
うんそうなんだけど上司から修正が…
フム…
え?
佐藤
ちょっとこい
グイ


ズンズン
仮眠室
仮眠室に
何かあるの…!?
ズン
ズン
な
キスさせて?
はっ
な…なんで


ちゅ
ちゅく
はっ
ビク
ん
仕事ちゅっ
んっ


は…
急に何なの!?
近藤…?
やっぱりいいな…


お前元カレとどーなった?
そっ…それは…
ダメだったんだな?


…だって


元カレとのキス嫌だったんだもん…
それって


俺との方が
イイってことだよな？
～っ！
そっ
それは――!!
ちか
仕方ねぇな


ひゃあっ
ちょっ
何するの!!
ちょっと
黙ってろって
んっ


ちゃ
ちゃ
キス…ながっ…
くるしい…っ
ちゃ
はっ
今日の近藤…
本当にどうしたんだろ…？
近藤の舌しつこく絡みついてきて…もうっ
ズル

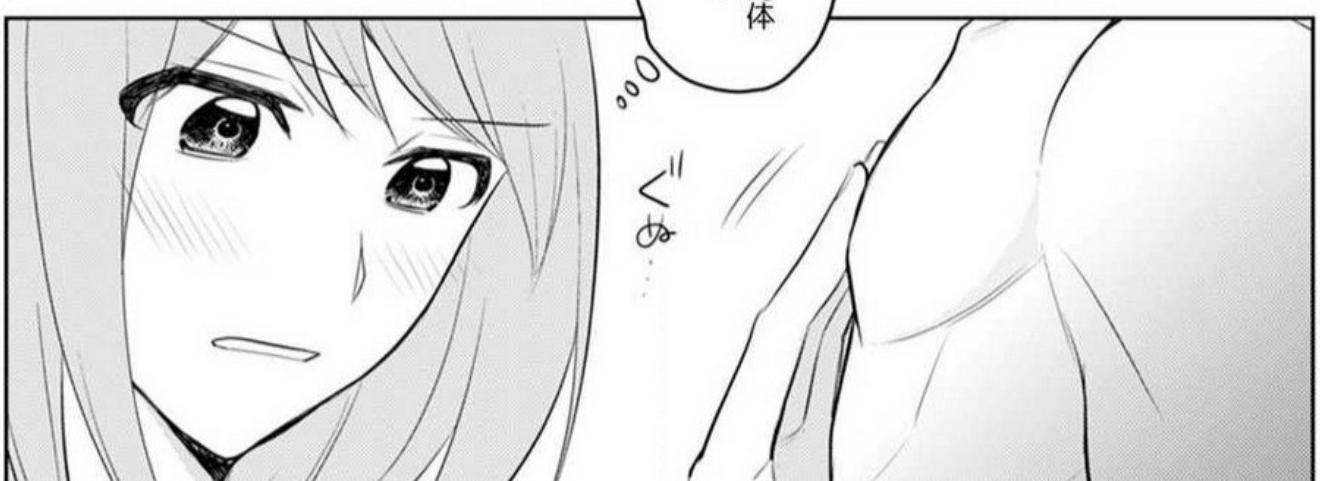

ズル…
おっ…と
ペロ
お気に召した？
！
ヴ〜〜
ははっ
悪くはない…わね
…っ
お姫様に満足して頂けてなによりイヤ〜
きゃっ
ひょいっ
ベッドへお連れしましょう


ぽすっ
脱がして♡
え!?
へっ
今日はおもちゃなしだから
お互い盛り上げなきゃだろ?
ホラお前がマグロじゃ気分が盛り上がらないだろう
……わかったわよ
プチ
プチ
プチ

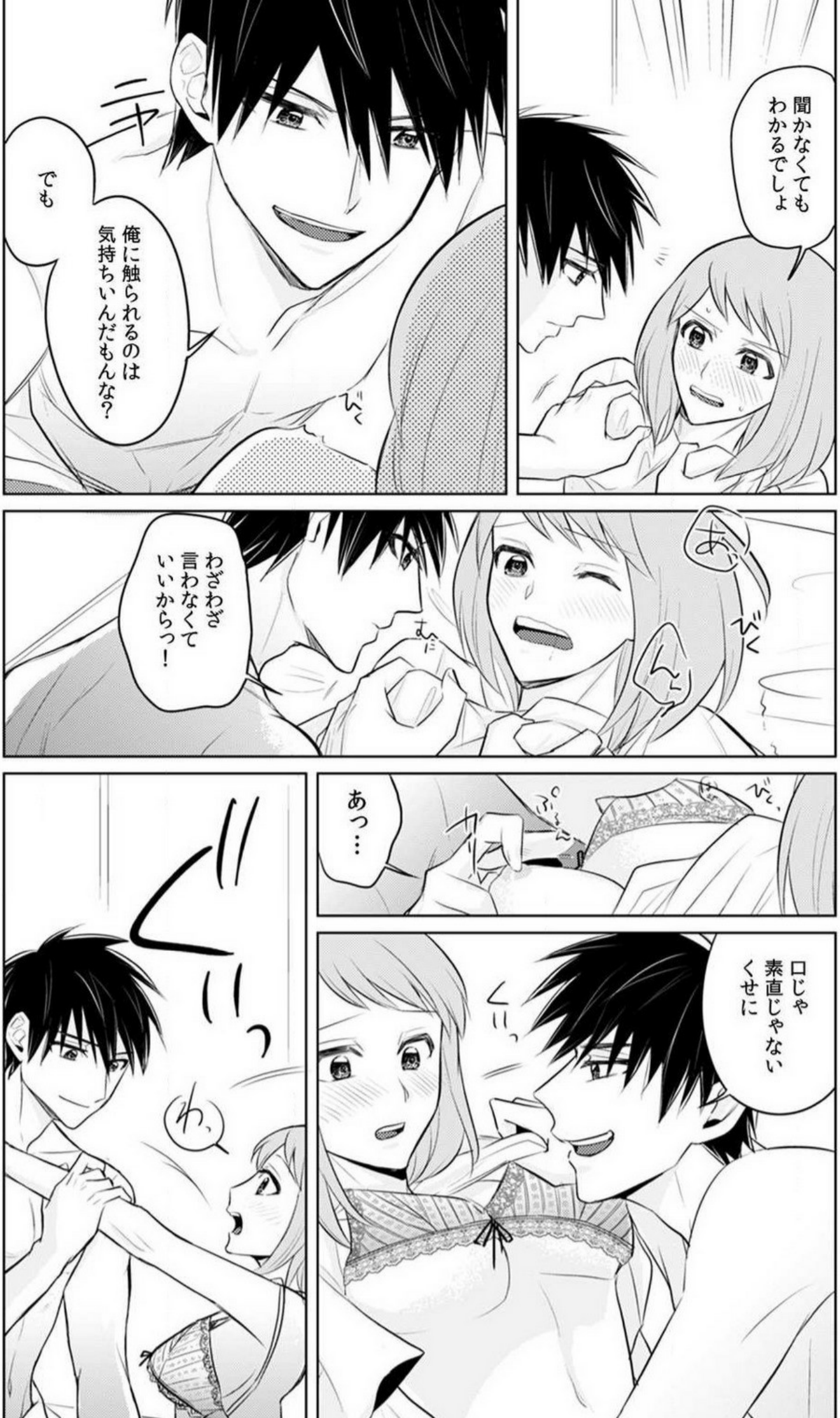

プチ
プチ
パサッ


ドキ
ドキ
ドキ
コイツ…


ぴと
やっぱりイイ身体してるのよね…


ぐぬ…

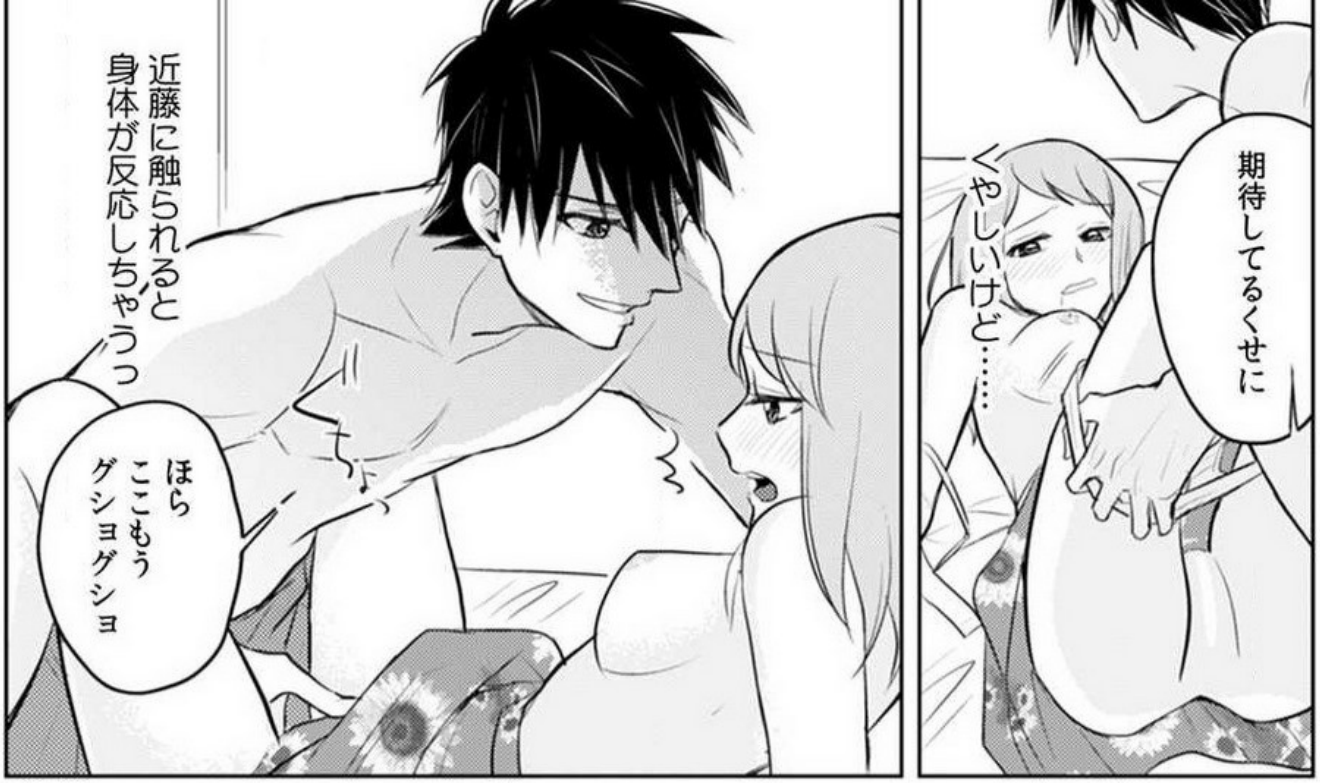

結局
元彼とは
何もして
いないんだな?
…シてない
ってば
へぇ
じゃあ
むぎゅ
このおっぱいも
触られてない?
あ〜♡

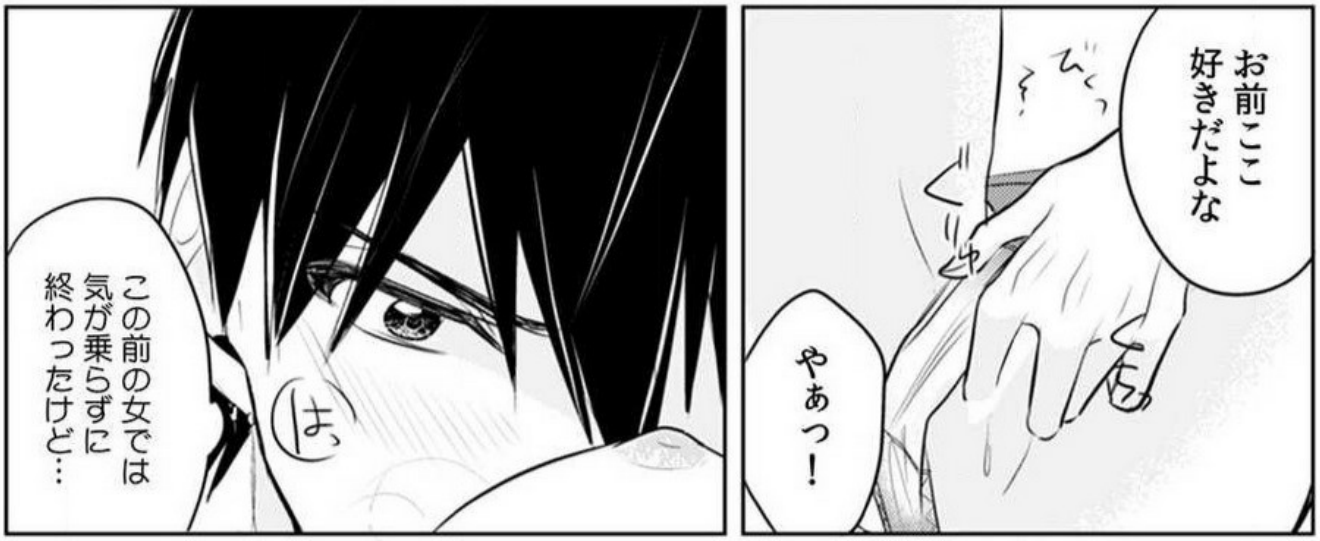

聞かなくても
わかるでしょ
でも
俺に触られるのは
気持ちいんだもんな？
わざわざ
言わなくて
いいからっ！
あっ…
口じゃ
素直じゃない
くせに


かわいー顔してバレバレだぜ
この部屋鏡がないから残念だな


見えなくていいい…っ


興奮するから？
ちがっ


期待してるくせに
くやしいけど……
近藤に触られると
身体が反応しちゃうっ
ほら
ここもう
グショグショ


お前ここ
好きだよな
びくっ
やぁっ！
この前の女では
気が乗らずに
終わったけど…


佐藤がエロいから…
…俺も勃ったわ
スル
コイツが
エロいのが悪い


ポッ
元カレに
掻っ攫われなくて
よかった
え？
？
もう
挿れるぞ
!?
は、
は、
あ。


悪いが――
いきなり奥深い――っ
やっ
今日はゆっくりできねえから
だめっ そんなに激しくされたら…っ！

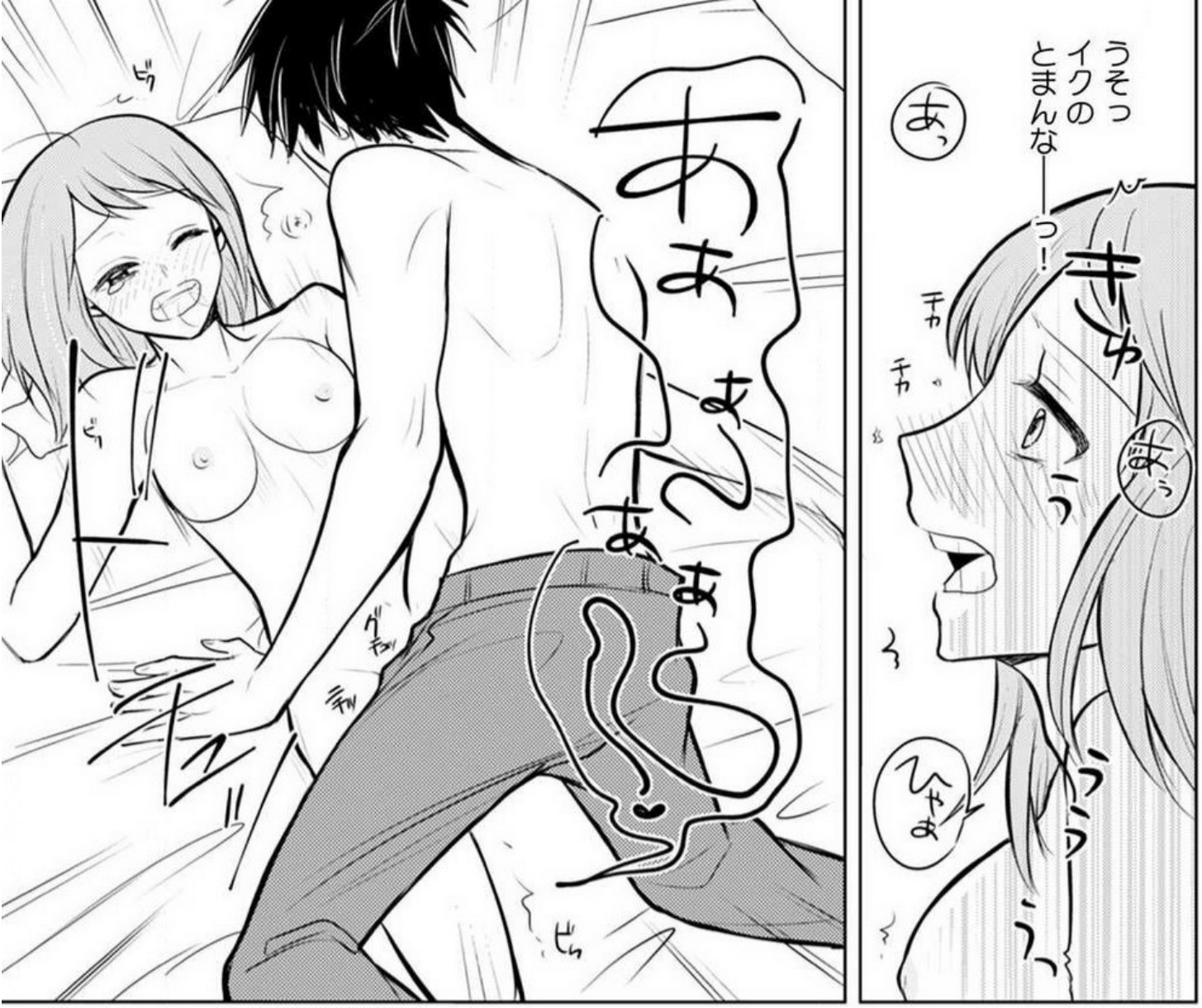

くわえて
kuwaete
aeide
kawaiijyan
上目
可愛いじゃん
～同期の凄テクに何度もトロイキ！
山田ツナ子
4


はぁ
はぁ…
ひゃっ…
あ、
よっ
そこっ
だめ♡
あっ
ビクビク
はぁ
やっ
どんどん挿(はい)ってきてる…っ
あん
深…ッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
コレ…ッ
当たるところが
変わって——


ひゃあぁぁ♡
気持ちいいっ…!!
今軽くイった?
なんでわざわざそんなこと言うのっ!?
へ…?
もっと気持ちよく善がらせてやるよ…


なっ
あっ
これで
ん…っ
わっ
くるんっ
一番奥まで届いたな…
や…これ顔見られちゃう…っ


アッ
近藤
これやだ！
なんか変っ
奥からズンと
押し上げられて
もう
わけわかんなく
なっちゃうー！


うそっ
イクの
とまんな――っ！
あっ
あ
ひゃぁ
あぁ
あぁ
あぁ


オレも出すぞ――ッ！
あ
は
ぁ
は
ん


翌日
……
カタカタ
カタ
持ち帰りの
仕事中
またまたまた
流されてしまった……——
…
ていうか
モヤ
モヤ
モヤ
私 近藤のこと
考えすぎじゃない!?
やだ 仕事しよ!!!!


新しいバイブの
企画考えなきゃ…
カチ
カチ

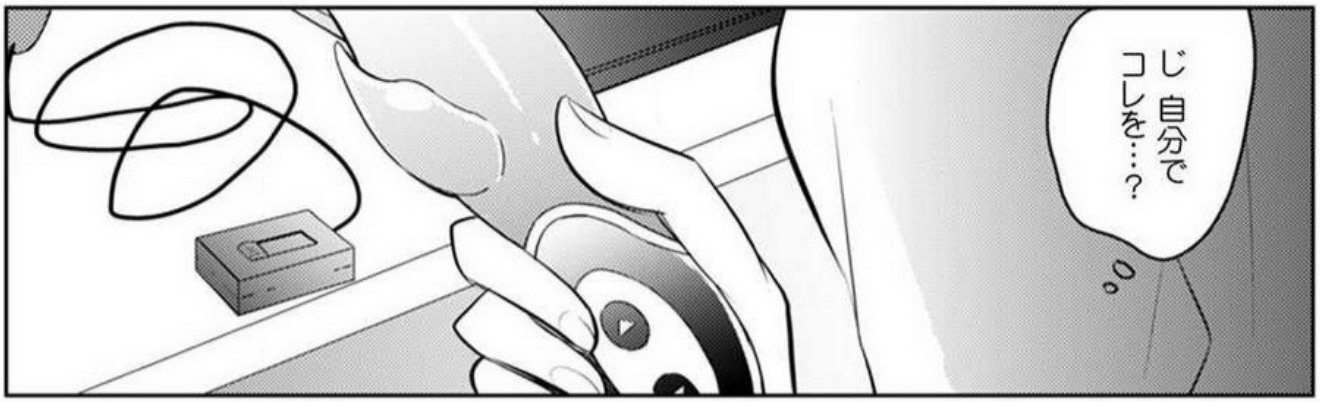

今構想中の
新企画…
連続して
オーガズムを体験する…
なんだけど…
でも——
ドヤァ
イェーイ
近藤の巨チ○は
コレより大きいのよね…


ハッ
また考えちゃってる！
うおおおお～
ヴヴヴヴヴ
会社からメール？
って近藤か
休日も
仕事してんのね…
休日で悪いけど
急ぎの
仕事頼みたい
なになに
こないだ行った
取引先から
バイブ追加
発注かかった
でも先方の要望
踏まえて
リニューアルしたい
ゲッ
悪いけど
週明けに
案まとめて
おけるか？
週明けって
何それ!?


こないだ行った取引先ってあの女社長のところの？
ん――…
もしかして…
ピリリリ
わっ
もしもし佐藤か？
ううん急に何よ
さっき連絡した件だよ
今読んだところよ
読んだて。
間に合いそうか？
――…
どうだろ…
…ていうかアンタ休日なのに会社なの？
やオレ今営業先のラブホだから
はあ!?


ここはこないだ佐藤が鏡見ながらイキまくった…
ラブホ
ラブホ……
わたしもラブホ行けば案浮かぶかな
……
は？
……
今スランプなの…
……
スランプ…
俺が手伝ってやろうか？
へ？


俺の指示通りに
バイブ
使ってみろよ
そうすれば
どこが足りないか
分かるだろ？


じ 自分で
コレを…？


やり方も
見ててやるから
画面映せよ


そ…それはっ
や…それはダメ！
痴女みたい
じゃない！
ヤンッ
えーそれじゃ
俺がわからない
だろ？
ダメったらだめ！


本当は見ながらの方が興奮するんだがなー
…
はーい
仕方ねぇな…
じゃあ準備出来たらやるから言って
ん…うん
じゃあ
先ずは…服の上から胸揉んで…


やさしく
乳首を刺激して
……
こう？

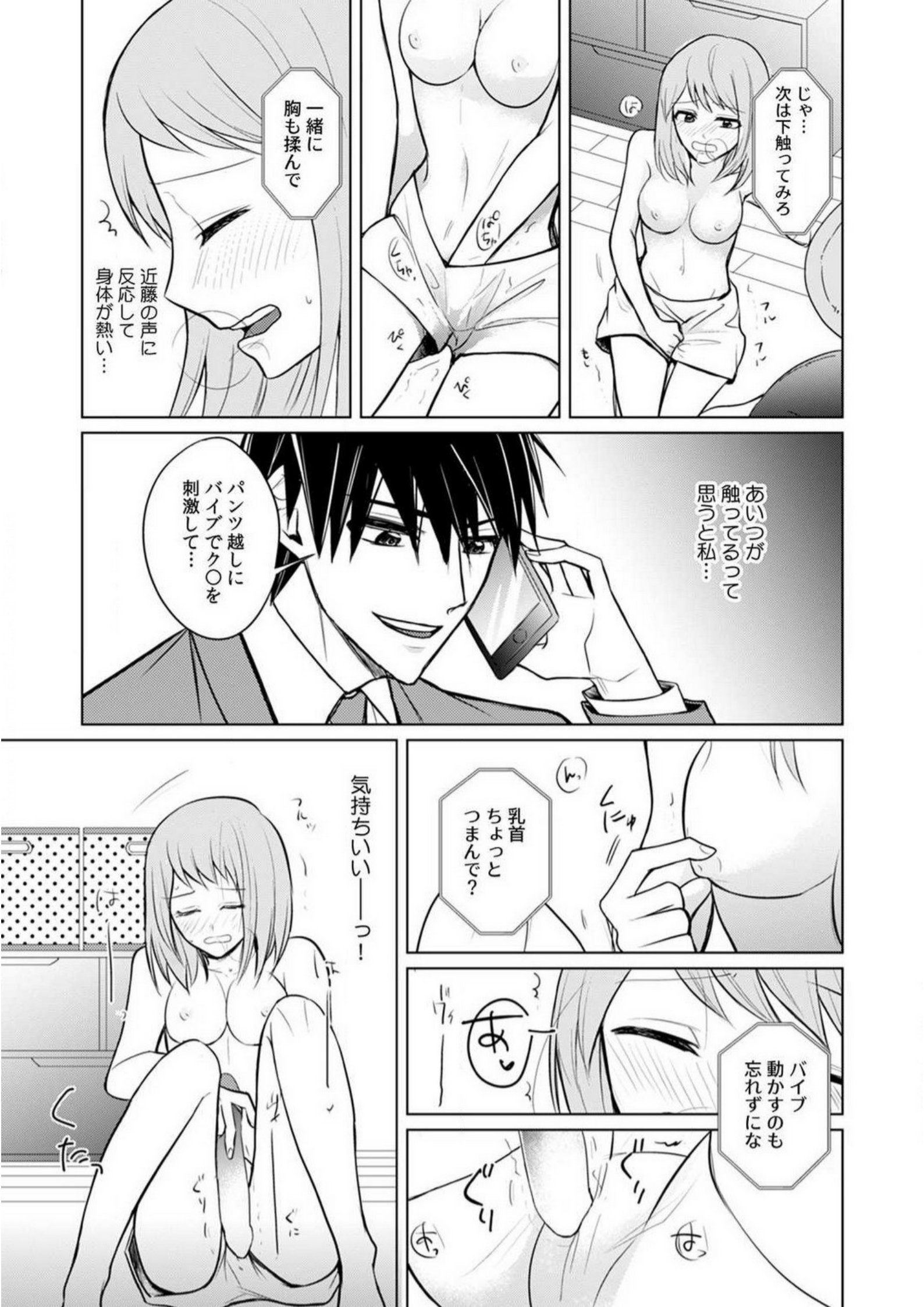

そう
もっと強く
くるくると
周りを刺激して…


これ…
近藤の声のせいか
一緒にシテる
みたい…！！


そこから
直接
バイブを
乳首に
当ててみろ


ブラ
外して


周りから
ちょっとずつ
な？
いいだろ？


じゃ…
次は下触ってみろ
一緒に
胸も揉んで
近藤の声に
反応して
身体が熱い…
あいつが
触ってるって
思うと私…
パンツ越しに
バイブでク〇を
刺激して…
乳首
ちょっと
つまんで？
バイブ
動かすのも
忘れずにな
気持ちいい――っ！


ドキドキ
ん
はぁ
ふぅ
はぁ
もみっ
はぁ
そっ
上下させて
みて
はっ
ん
どうじょう…
ぷるん
お
恥ずかしいことしてるのに
もっと欲しくなってきて
ぷるっ
ぐっ
ぷるっ
あの時と同じ…
身体が覚えてて
近藤が触ってるみたいに思い出しちゃう

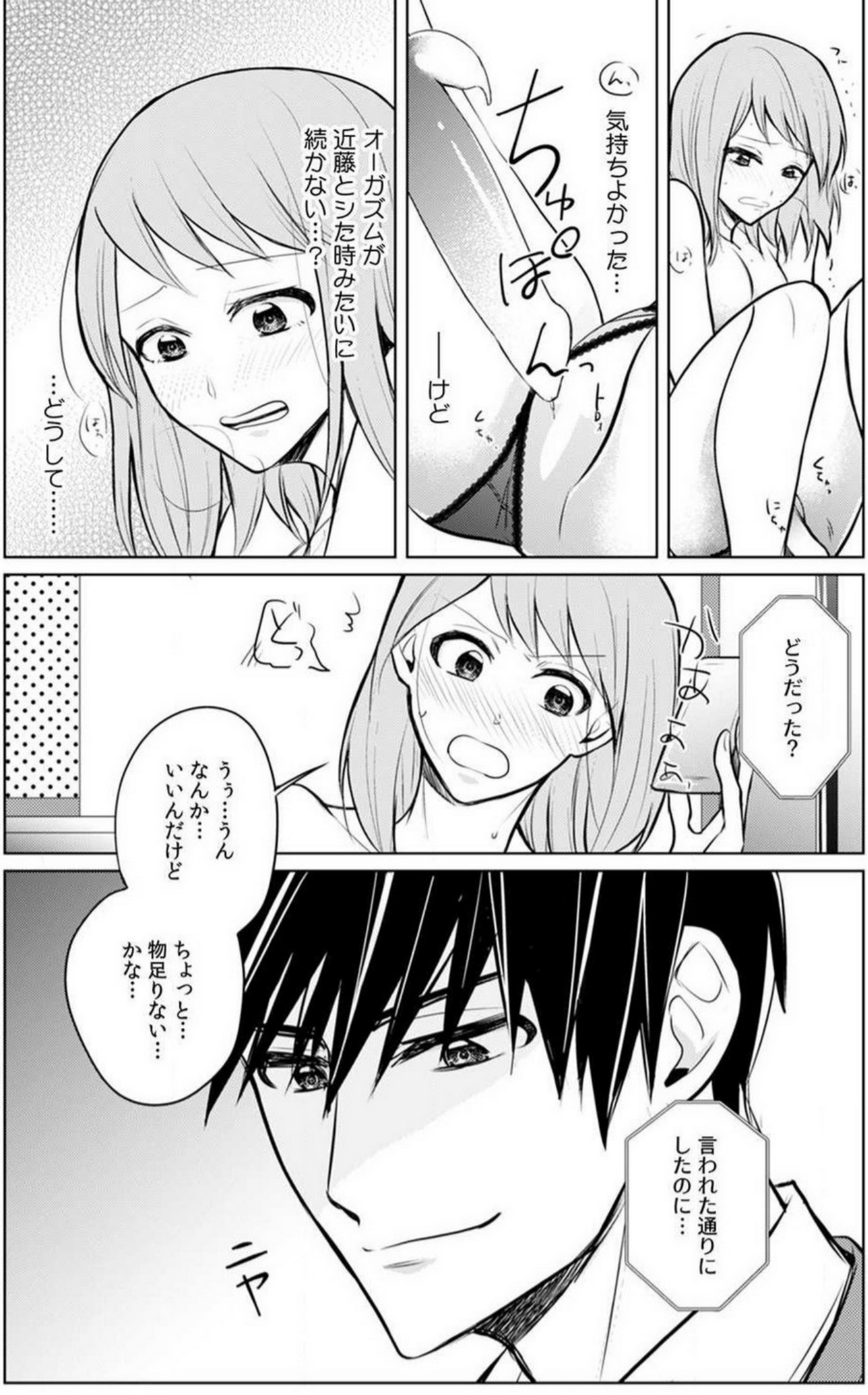

じゃ挿れて
ゆっくりな…
ビクン
あ
ビクビク


エロい声♡


こんなのダメなのに…っ
あ
ほぉ

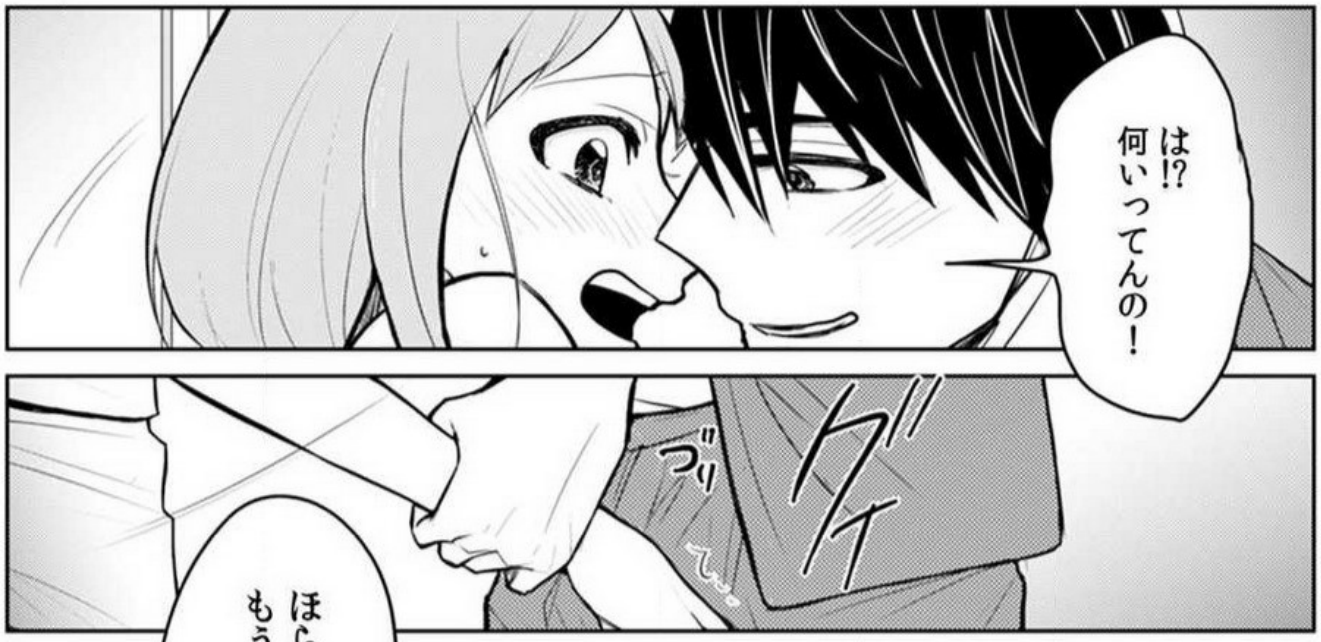

手が
ひゃ
ん
止まらな——
あ


ク○も可愛がってあげろよ？
ドキ
カタン
グイッ
ほらイけよ
こんなの――
イッちゃ――


ん…
気持ちよかった…
ちゅぽんっ
——けど
オーガズムが
近藤とシた時みたいに
続かない…？
…どうして……
どうだった？
うぅ…うん
なんか…
いいんだけど
ちょっと…
物足りない…
かな…
言われた通りに
したのに…
ニヤ

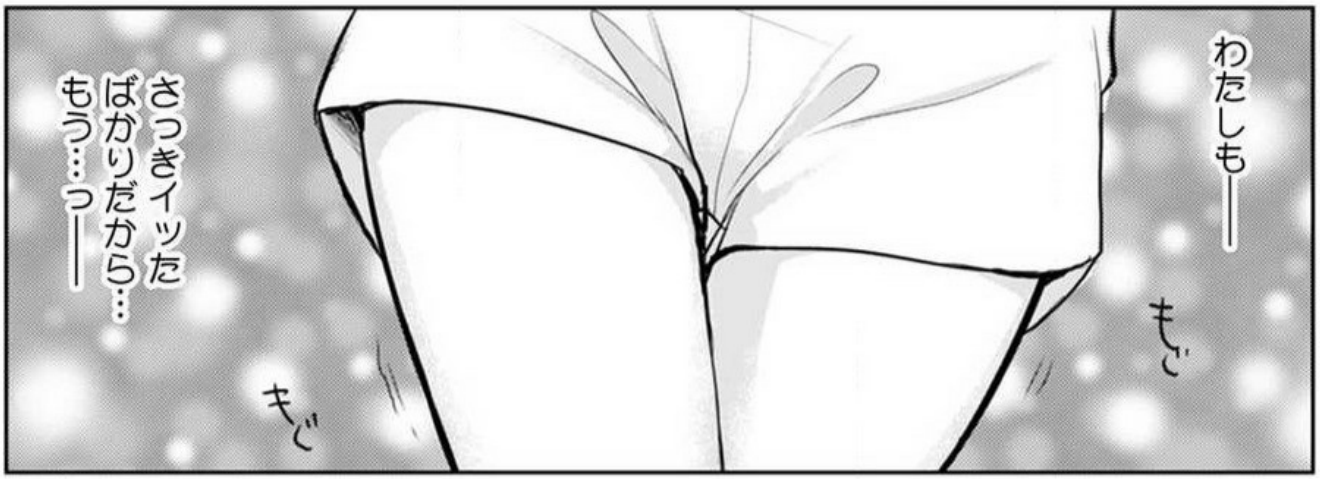

ピンポーン
こんな時に誰だろ!?
!?
ごめん近藤ちょっと待って…
はーい
わた
わた
バタバタ
おまたせ
ニヤ
えっ近藤!?
ピンポーン
わっ!

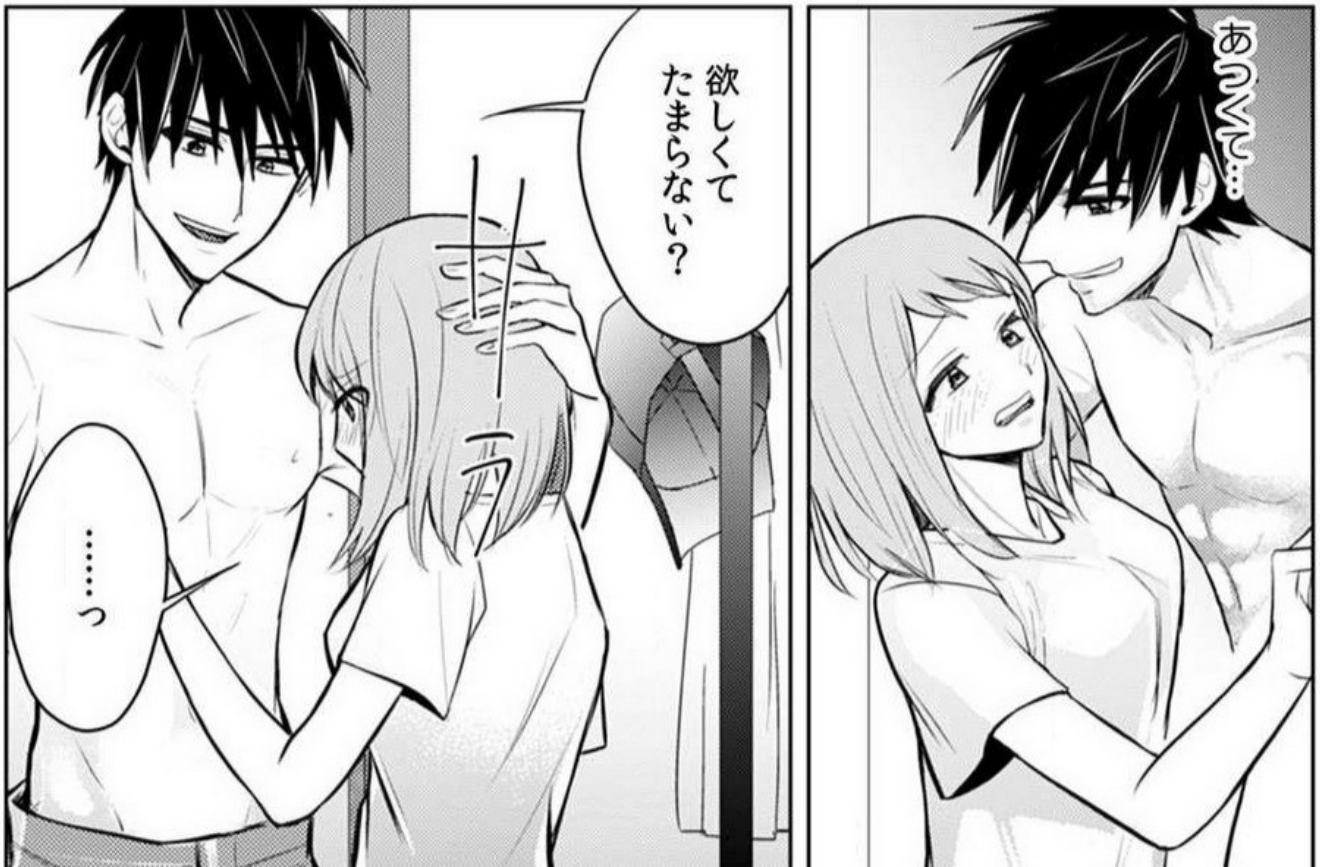

俺みたいな
大物の感覚を
覚えたら
もうそれより小さい
チ〇コじゃ満足できない
身体になっただろ?


は!?
何いってんの!


やだ――っ
近藤のおっきいのを
腹に擦り付けられただけで
身体反応してる…っ
ほら俺の
もう勃ってる
触って


ほら…
さわ
ぐい
近藤のっ
おずっ
どんどん手の中で
大きくなってる！


わたしも——
もぐ
キぐ
さっきイッた
ばかりだから…
もう…っ——


あっくて…
欲しくて
たまらない？
……っ


あっ
挿れるぞ
おっきいのがゆっくり入ってくる
やば――
やっぱり…バイブとは比べ物にならないくらい…おっきい


おっと
前が寂しかったよな?
そんな…っ
両方…!
くっ…
そんなに
締め付けんな
だって
そんな奥…突かれたら…ッ


なあ佐藤
あっ
なにっ
なっん
バイブと
俺のチ○コ
どっちがいい？
どっち？
言わないと
止めるぞ
やっ
そんなの…っ！
……近藤のっ
おっきいの
がいいっ…


ホラ
ひゃっ
きゃっ
あっ
ひゃっ
ひゃっ
きゃっ
俺のカタチ
覚えたみたいだ…
だめっ！
動いちゃっ
あっ
ちょっと動いただけで
頭がクラクラするほど
やっ…！
全身痺れて
気持ちいいっ


くわえて
aeide
kawaiijyan
上品
可愛いじゃん
～同期の凄テクに何度もトロイキ！
山田ツナ子
5


ずっとビリビリしてイキッぱなしになってる――っ
すごい
中がとろっとろ
これ…すご…

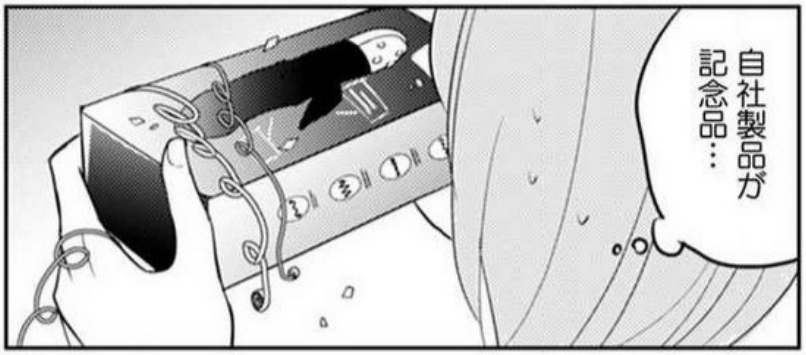

俺ので
中イキした
んだ？


コレが
そうなの…？
よかったろ？
ん…すごい…
これ…ずっと
近藤のが
中に入ってるだけで
気持ちいい…


でも
よかった
やっぱお前
感度最高だし
すげーエロいよ
色気ないなんて
誰も言えないくらい
乱れてたろ?
だから
安心しろって
近藤
わたしのこと
慰めようと――
!?
待って
家出る時間
過ぎてるッ!
7:00


バタバタ
おはようございまっ
祝！売上NO.1！
お二人ともおめでと～～!!


は？
この前の新作のバイブがすっげー売れてるんですよ！
これ記念品ッス！社長も超上機嫌でしたよ！


自社製品が記念品…


なんでも社史上No.1の売上らしいッス
や～さすが近藤先輩と佐藤先輩のコンビだなってみんなで話してたんですよ
今回の製品は特に気合入ってましたもんね～




それって……
わたしの仕事が
認められたって
じわ…
そ そういうこと…
だよね…？
先輩照れてる～!?
カワイイ～！
キャッ
キャッ
ホントだ！
真っ赤じゃないすか！


オィ
今の誰だ
シバくぞ
なんスか
先輩心が
狭い～！
うっせ
そういや今日は
お二人一緒に出社
だったんですね
そうそう俺達
っ
たまたま
居合わせただけ
なんで!!!
そこは!!!
へー

そうだ佐藤
今週末空けとけよ

出張の
仕事だよ仕事

出張？

は？ なんで？

特に誰からも
何も言われてないん
だけど…どこ行くの？

箱根

箱根の旅館
デートに最適そう
だろ？

市場視察みたいな
もんだよ

いいけど…
それって経費で
落ちるの？

予算あるの？

休日出勤申請とか
してないし…
ていうか
経費で落ちないんじゃ
ただのサービス残業で…

ぐら ぐら

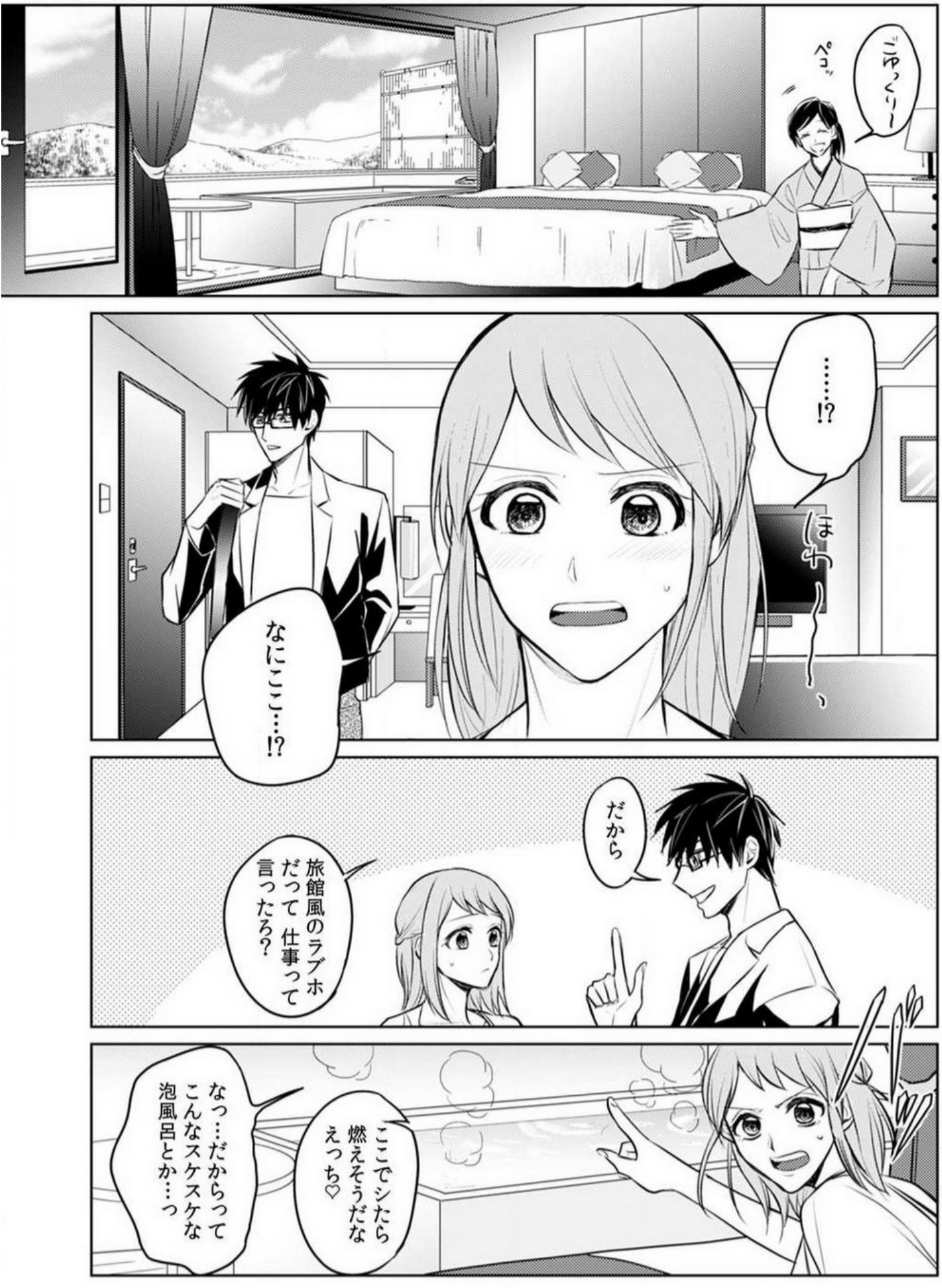
ぐら

**俺が自分の経費分で
落として**

**足りない分も
出してやるから
いいから来い**

そこまで
言うなら…


週末
パタパタパタ
お待たせ～
待った？
！
よ
なにそれ
眼鏡じゃん
アンタってコンタクト
じゃなかった？
…って近藤？
仕事中はな
今日は半分
オフだから
眼鏡
いつもと
違う…
ふーん
悪くないん
じゃない？
ブロロロロ
さあて
行くか～
ドキドキドキ
なんか
別人みたい
あ
安全運転で
お願いします
なんで敬語
なんだよ


ごゆっくりー
ペコッ
……!?
はわーん
なにここ…!?
だから
旅館風のラブホだって仕事って言ったろ?
ここでシたら燃えそうだなえっち♡
なっ…だからってこんなスケスケな泡風呂とか…っ


ガチャ
佐藤も来いよ
きゃっ
ほら絶景だぞ
あっ
むにゅっ
そんなこと言われてもこんな状況じゃ――
ホントいい景色
カチャ
くい
ひざ
あっ
全然せっかくの景色に集中出来ないってば…！


服脱がすぞ
あっ…
キュッ
濡れる前に…な
やっ
…んっ
泡風呂でえっちとか…
そんなの聞いてないしっ!?
こんな景色がいいところじゃ
ドキドキ
シャン
どこからか見えちゃうんじゃ…
ん
あ
は
ん


パシャン
お風呂だから
音が反響して…
チャプ


響いて…
恥ずかしいっ
ちゃぽん
かあぁぁっ


ほら
景色見ないで
いいのか?
ピチャ
チャプ
ハシャ
んっ
…あぁっ
くちゅっ
ちゃぷ


それどころ
じゃないか
はっ


なかっ…入って…
ぷるぷるぷる
あ
はぁ
ぱちゃん
くちゅっ
ん
ビクビクビク
ニャン
もうイっちゃう――ッ！
チャプッ
ひこ


このぬるぬる
トロオ
お湯だけじゃないよな？


そん…なの…っ
ひこ～
恥ずかしい…っ
はぁ
はぁ
ん…
はぁ


湯あたりする前に上がるか
チャプ…
はぁ
ひこ～


ゴロン
はあ…
絶景での
えっちは刺激的
だったな…
じゃ…
続きを——
ハッ
トサッ


近藤
わたしっ
新製品の
アイディア…
思いついたかもッ！


ねぇ近藤聞いて
この前話してた
新製品の件ね！
…


今回の泡風呂
みたいな水回りで
使うことを考慮して
撥水加工を
するのはいいけど
むしろどんどん
水につけて…
は
ンッ
ちゃ
くいっ


はっ
んうっ
ちょっと…
まだ話の途中…っ
ズテ
仕事に一生懸命な
お前も可愛いけど


今みたいな時は


ちゃんと
俺に集中して
…っ
あ…私……


わかって
貰えたならいいよ
こっん
そんなの…
ん
ちゅ
ちゅ
ちゅ
と〜ん
は…あ
今日は休日だから
ご奉仕してやるよ
俺がお前に
え？
それってどういう…

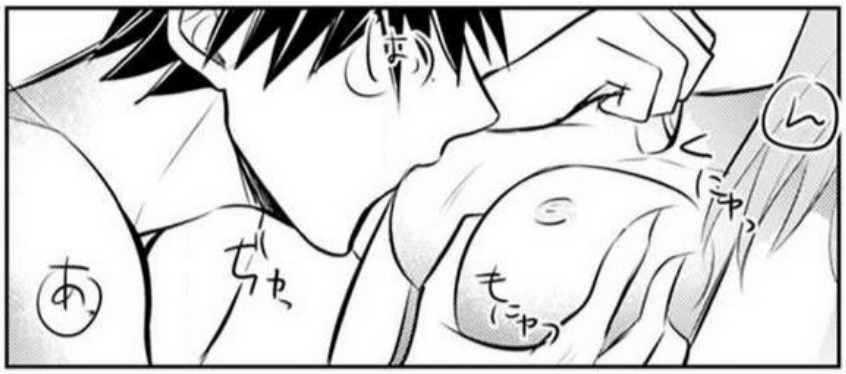

きゃっ
わ
ちょっ
恥ずかし…
何する気…？
！
もしかして…
やだっうそっ
そんなところ
汚…
お風呂一緒に入った
ばっかりだろ
それに
お前の身体で
汚いところとか
ないから


ぴちゃ
くちゃっ
ぎゅっ
あ～
ひぁ
ぐちゅっ
やっ
全身舐めさせて
ハッ…
ぐちょぐちょだな
元カレのことは
そろそろ忘れられた？
っ……
近藤が忘れさせて
くれるんでしょ？


ちゅ
なら
もうとっくに忘れたんじゃないのか？


…ばか
かぁぁ


さっき慣らしたからもう大丈夫そうだな
ぷるん
ぬぷぷ
ぷにぷにぷに


ん
にゃっ
ちゃ
もにゃっ


カプッ

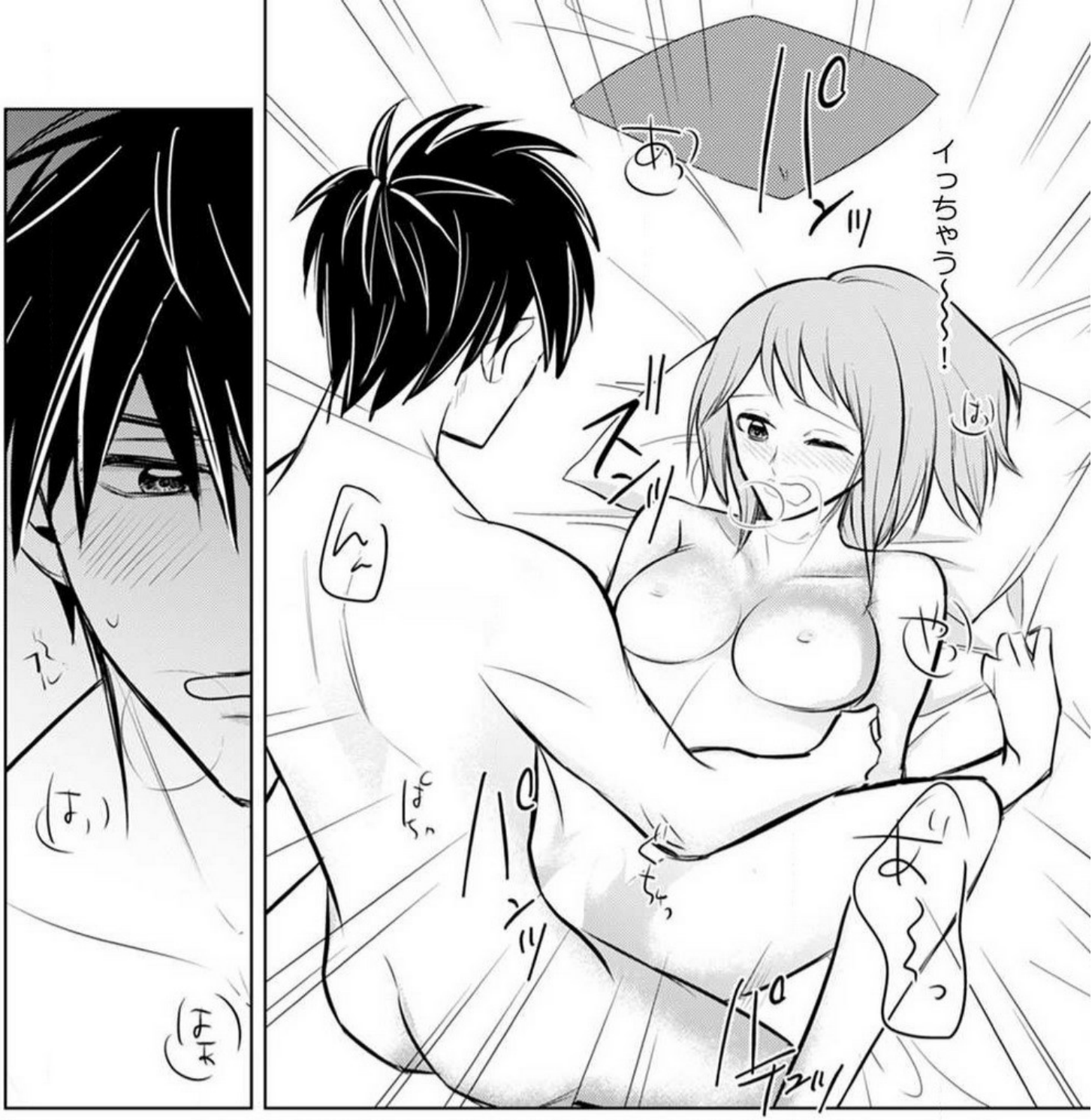

ちゅぱっ
ぴちゃ


くっ そろそろ挿れるぞ
ちゃぷ
ぴと
ドキ
ドキ
はっ
ん…あ
ズプ
ズプ
ズン
ん
ズン
ズン
ん
あ
ん
ん
ん


もっむり…っ
お前締めすぎ
頭真っ白になっちゃう


も――イく！
気持ちいいのとまらない…！


あああっ


イっちゃう〜〜〜！


余韻で
ふわふわする…


そんなに
気持ちよかった？


はっ…
はあ
はあ
(は)
(は)
ドサッ
近藤…？
ゴロン
…なあ佐藤
え？
お前…
俺と付き合う
気はねぇの？

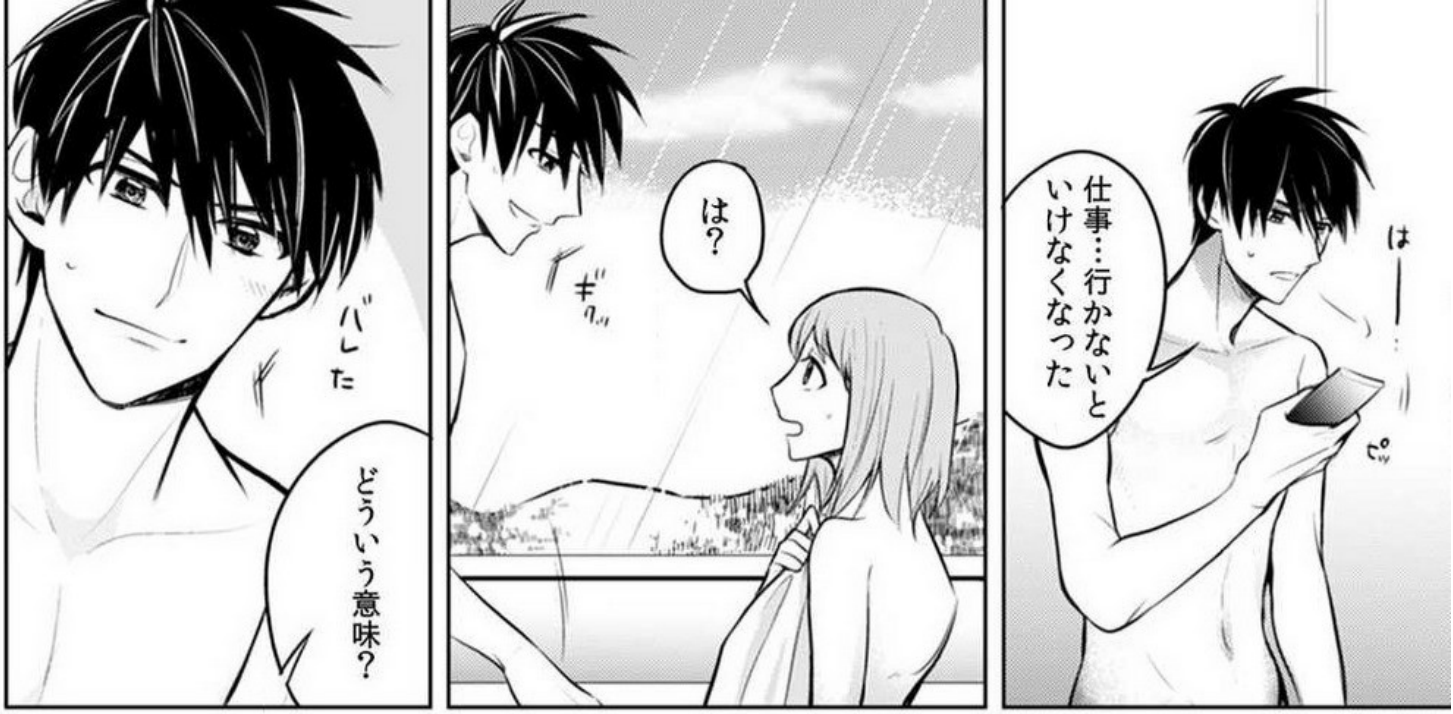

元カレとは別れたんだろ？
！
それなら俺と付き合えばいいだろ
そ それは…
俺にしとけよ
どう どうしよう…

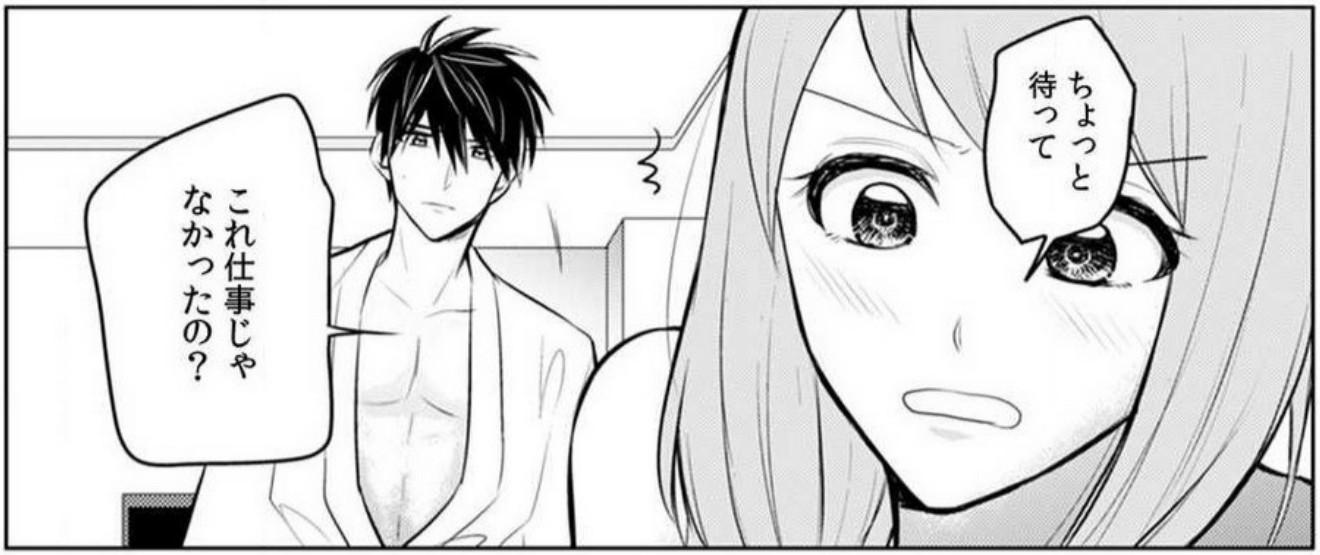

…仕事のスマホでしょ？
出ないの？


あっ近藤くん？
さっき連絡来たわよ
うちの旅館
来てくれたんですってね～
…お世話になっております
近藤です


そろそろお楽しみも終わってる頃かと思って電話しちゃったわよ～！どう？よかったかしら？
え ええ…まあ…


じゃあ申し訳ないんだけど納品増やして欲しいの今日中に何とかして貰えない？
クスクス







二人の関係は
相変わらず
前途多難です

くわえて喘いで可愛いじゃん
～同期の凄テクに何度もトロイキ！(5)

著者　山田ツナ子

発行　オトメチカ出版

本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。